宮城大学
履修ガイド
事業構想学群

MIYAGI UNIVERSITY
CURRICULUM GUIDE 2018
SCHOOL OF PROJECT DESIGN

平成30年度

宮城大学
履修ガイド
事業構想学群

MIYAGI UNIVERSITY
CURRICULUM GUIDE 2018
SCHOOL OF PROJECT DESIGN

この履修ガイドは卒業まで使用するものです。

はじめに

　この「履修ガイド」には、宮城大学に入学された皆さんにとって、大学での４年間の学びが充実したものとなるよう学修計画を立て、実現していくために必要となる基本的な情報がまとめられています。

　大学では、高校までとは違い、入学した当初から自分自身で考え、行動することが求められます。高校ではあらかじめ時間割のほとんどが決められており、自分自身で考えて授業科目を選択することはあまりなかったかもしれませんが、大学では、多くの授業科目の中から、自分の勉強したい科目を調べ、登録するといった作業を自分の判断で責任を持って行わなければなりません。この一連の履修に関係する要件や各種手続きのほか、入学から卒業までの基本的な流れ、基盤教育・専門教育課程の特徴等を「履修ガイド」で説明しています。

　また、宮城大学では、学群・学類・コースごとに「進級・卒業に必要な単位数」を定めています。この条件を満たし、順調に進級・卒業できるよう、この「履修ガイド」を熟読した上で、各授業科目の内容が記載された「シラバス」を活用して、卒業後の進路も見据え、納得のいく学修計画を立ててください。

　「履修ガイド」は、入学時だけではなく、毎年の履修登録のとき、学修計画や進路で迷ったり、分からないことに出会ったとき、読み返してみることで、解決の方法や糸口が見つかるような「便利帳」の役割も果たしていますので、卒業まで大切に手元に置いて活用してください。

目次

Ⅰ 宮城大学カリキュラムの全体像 06
1 宮城大学の教育目標 06
2 宮城大学の教育基本方針 06
3 学群・学類について 06

Ⅱ 総論 09
1 入学から卒業までの基本的な流れ 09
2 学群とキャンパスについて 09
3 学年及び休業日と、学期、時間割について 09
(1)学年、学期及び休業日 09
(2)時間割 09
4 学籍と在学期間について 10
(1)学籍の異動 10
(2)修業年限及び休学期間の限度、在学年限 10
5 単位について 11
(1)単位の計算基準 11
(2)卒業要件単位数 11
(3)単位認定について 11
6 履修登録について 12
7 授業について 12
(1)授業科目 12
(2)シラバス(授業計画書) 12
(3)授業への欠席及び遅刻 12
(4)休講 12
(5)補講 12
(6)学生による授業評価について 12
8 成績の評価方法及びコース変更について 13
(1)試験 13
(2)レポート・製作物の提出方法 13
(3)追試験 13
(4)再試験 13
(5)グローバルコミュニケーション科目の受験資格の認定について 14
(6)成績発表について 14
(7)GPA制度 14
9 進級について 15
10 学類の決定・履修コースの選択について 15
(1)学類の決定 15
(2)履修コースの選択 15
11 転学群・転学類について 15
(1)転学群・転学類について 15
(2)コース変更について 15
12 卒業認定・学位授与について 16
13 学修支援について 16
(1)教員へ相談したいとき 16
(2)職員へ相談したいとき 16
(3)学生相談室、保健室について 16
14 その他 17
(1)大学からの連絡 17
(2)気象状況や自然災害等による休講・試験の延期 17
(3)学生保険について 17
(4)経済支援について 17

Ⅲ 履修登録 18
1 履修登録とは 18
2 履修登録の手順 18
(1)事前作業 18
(2)履修登録 18
(3)履修登録修正 19
(4)時間割の印刷 19
(5)事務部へ学生時間割を提出 19
(6)履修登録取消期間 19
(7)履修登録科目の確定 19
3 履修登録上の留意点 19
(1)履修登録可能な単位数の上限 19
(2)単位修得済み科目の履修登録の禁止 19
(3)集中講義科目の日程確認 19
(4)その他 19

Ⅳ 全学共通科目 ほか 21
1 コミュニティ・プランナープログラムについて 21
(1)コミュニティ・プランナープログラムとは 21
(2)単位 21
(3)プログラムの考え方および特色 22
(4)履修方法および履修手続等 22
2 他学群・他学類履修、他大学等履修、入学前既修得単位の単位認定について 24
(1)他学群又は他学類の履修について 24
(2)単位認定に係る申請について 24
(3)単位認定された授業科目の本学開講科目との振替について 24
(4)振替できない科目の卒業要件単位数への算入について 25
(5)単位認定を受けた授業科目の成績表記について 25
3 学都仙台単位互換ネットワーク　単位互換制度 26
(1)学都仙台単位互換ネットワーク　単位互換制度とは 26
(2)単位互換制度の申請方法 26
4 学外研修・グローバルインターンシップ 27
(1)学外研修・グローバルインターンシップとは 27
(2)科目の履修方法 27

Ⅴ 基盤教育 31
基盤教育の教育目標 32
1 フレッシュマンコア 33
(1)フレッシュマンコア（FC）とは 33
(2)フレッシュマンコアの基幹科目 33
2 基礎教育における４つの科目分野 35
(1)グローバルコミュニケーション分野（GC） 35
(2)ソーシャルサイエンス分野（SS） 35
(3)ナチュラルサイエンス分野（NS） 35
(4)アートサイエンス分野（AS） 35
3 留学生対象科目 36
4 教育課程の一覧 36

Ⅵ 事業構想学群 37
1 事業構想学群の４年間の学びの流れ 38
2 事業プランニング学類について 40
(1)カリキュラムの特徴 40
(2)事業プランニング学類の教育目標 40
(3)卒業に必要な単位数及び卒業要件 41
(4)事業プランニング学類事業戦略コースのカリキュラムマップ 42
(5)事業プランニング学類事業管理コースのカリキュラムマップ 43
(6)事業プランニング学類の科目配当表 44
(7)履修モデル 46
3 地域創生学類について 48
(1)カリキュラムの特徴 48
(2)地域創生学類の教育目標 48
(3)卒業に必要な単位数及び卒業要件 49
(4)地域創生学類地域政策コースのカリキュラムマップ 50
(5)地域創生学類地域科学コースのカリキュラムマップ 51
(6)地域創生学類の科目配当表 52
(7)履修モデル 54
4 価値創造デザイン学類について 56
(1)カリキュラムの特徴 56
(2)価値創造デザイン学類の教育目標 56
(3)卒業に必要な単位数及び卒業要件 57
(4)価値創造デザイン学類感性情報コースのカリキュラムマップ 58
(5)価値創造デザイン学類生活環境デザインコースのカリキュラムマップ 59
(6 価値創造デザイン学類の科目配当表 60
(7)履修モデル 62
5 関連資格・検定等 64

宮城大学の建学の理念

ホスピタリティ精神とアメニティ感覚に溢れ、高度な専門性と実践的能力を身につけた、地域の発展をリードし、世界に貢献できる人材を育成するとともに、学術・文化の向上と豊かで活力のある地域社会の形成に寄与することを建学の理念に掲げています。

宮城大学の目的

地域社会及び他の大学、研究機関等との自由かつ緊密な交流及び連携のもとに、看護、事業構想及び食産業に関する教育研究を行うことにより、学術文化の振興に資するとともに、創造的な知性と豊かな人間性を備えた人材を育成し、もって地域の産業及び社会の発展に寄与することを目的としています。

宮城大学各学群の教育研究上の目的

看護学群	生命の尊厳を基盤とする豊かな人間力を備えて、科学的思考力とマネジメント能力をもち、ヒューマンケアを中核とした創造的な看護を展開し、地域社会及び多分野・異文化の人々と協働して学際的及び国際的に活躍できる人材を育成すること。
事業構想学群	現代社会の諸課題を多角的・グローバルな視点で論理的にとらえ、その課題解決に向けた事業を実行可能かつ持続可能なものとして構築する能力を身につけるとともに、地域資源の活用や新たな価値創造を志向し、産業、行政及び社会の各分野で先導的役割を担うことができる人材を育成すること。
食産業学群	食資源開発及び食材生産から食品製造・流通・消費に至るまでのフードシステムについて幅広い科学知識と技術を持ち、食産業全体を理解し、東北地域から世界まであらゆるレベルで食の未来を開拓できる意欲と能力を有する人材を育成すること。

Ⅰ. 宮城大学カリキュラムの全体像

1 宮城大学の教育目標

宮城大学の建学の理念、目的を踏まえ、主体性を持って協働的に行動し、社会の持続的な発展に貢献できる人材の育成を教育目標として定めています。

2 宮城大学の教育基本方針（ディプロマポリシーとカリキュラムポリシー）

（1）ディプロマポリシーとは

宮城大学の教育目標に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定めた基本的な方針を「ディプロマポリシー」といいます。これは、学生の学修成果の目標ともなるものです。

（2）カリキュラムポリシーとは

「ディプロマポリシー」の達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定めた基本的な方針を「カリキュラムポリシー」といいます。

※基盤教育・各学群・学類のディプロマポリシーとカリキュラムポリシーは、各章の教育目標を参照してください。

3 学群・学類について

宮城大学は、学群・学類（3 学群・6 学類）により構成されています。

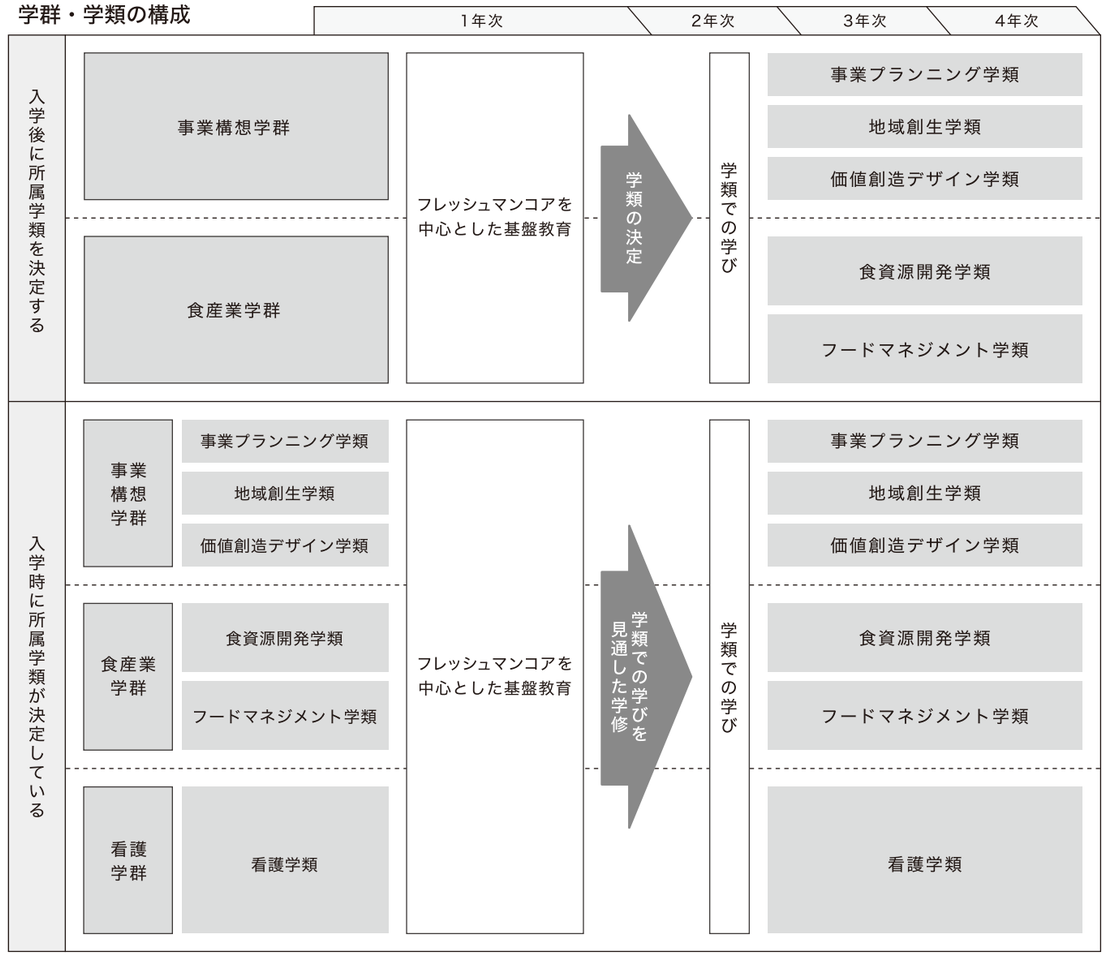
学群	学類
看護学群	看護学類
事業構想学群	事業プランニング学類
	地域創生学類
	価値創造デザイン学類
食産業学群	食資源開発学類
	フードマネジメント学類

看護学群では、入学時に所属する学類が決まっており、2 年次からの学びを見通し、1 年次から学修に取り組むことができます。

また、事業構想学群及び食産業学群（一部入学生を除く）では、2 年次に所属する学類が決定されます（AO 入試での入学生を除く）。入学後 1 年間をかけてマッチングを行い、自分が進む学類を決定します。

※基盤教育・各学群・学類のカリキュラムの詳細は、各章のカリキュラムの特徴を参照してください。

学群・学類の構成



II . 総論

ここでは、宮城大学における教育課程の修業に係る共通事項を説明します。これらの内容の詳細は、宮城大学学則、宮城大学履修規程及び宮城大学学位規程に記載されています。

1 ―入学から卒業までの基本的な流れ

入学から卒業・学位授与までの基本的な流れは下図のとおりです。それぞれの段階で必要な手続きや申請がありますので注意してください。

入学 ▶ 履修登録 ▶ 授業・授業評価 ▶ 試験 ▶ 成績評価・単位修得 ▶ 進級（学類決定・コース選択） ▶ 卒業研究 ▶ 卒業・学位授与

2 ―学群とキャンパスについて

宮城大学では、看護学群・事業構想学群・食産業学群及び各研究科を設置しています。それぞれの学群は、以下のキャンパスに所在しています。

	宮城大学大和キャンパス	宮城大学太白キャンパス
設置学群	看護学群・事業構想学群及び研究科	食産業学群及び研究科
住所	〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑 1 番地 1	〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立 2-2-1
電話	022-377-8200	022-245-2211

3 ―学年及び休業日と、学期、時間割について（学則第６条、第７条、第８条）

（1）学年、学期及び休業日

本学の教育課程は、以下の日程で運用しています。また、学年を前期と後期にわけて単位認定を行う「前後期制」を採用しています。

	期間
学年	４月１日に始まり、翌年３月 31 日に終わります。
前期	４月１日から９月 30 日まで
後期	10 月１日から３月 31 日まで
休業日	土・日・祝日・開学記念日５月１日
春季休業日 夏季休業日 冬季休業日	別に定める。(春季・夏季・冬季休業の日程は年度ごとに変更になる場合があります。当該年度の長期休業の日程は，学内ウェブサイトの「学年暦」を確認してください。)

※なお，定期試験は，前期・後期末に期間を定めて実施します。

（2）時間割

授業は、前期・後期の期間内のうち、月曜日から金曜日まで、下表の時間割に沿って行われます。

時限	１時限	２時限	３時限	４時限	５時限
時刻	8：50 ～ 10：20	10：30 ～ 12：00	12：50 ～ 14：20	14：30 ～ 16：00	16：10 ～ 17：40

また、通常の時間割以外に、以下の開講形態があります。
①集中講義：夏季休業等の休業日に，集中的に授業を開講するものです。
②隔週開講：１週おきに開講するものです。
③指定日開講：特定の日時に開講するものです。
その他、学外の実習等、通常の時間割以外の時間帯に授業を行う場合があります。

4 学籍と在学期間について（学則第 18 条、第 19 条、第 21 条、第 23 条、第 24 条、第 26 条）

学籍とは、本学に所属する学生であることを示す籍をいいます。

（1）学籍の異動

本学に入学してから卒業するまでの間、通常通り修業する状況を「在学」として取り扱います。学生の申請や大学の決定により「休学」「転学」「退学」「除籍」として学籍を異動する場合があります。これら学籍の異動に必要な手続きは、学内ウェブサイトを参照してください。

また、学籍の異動は、進級要件や卒業要件、授業料免除申請や奨学金の付与等に影響することがあります。

（2）修業年限及び休学期間の限度、在学年限

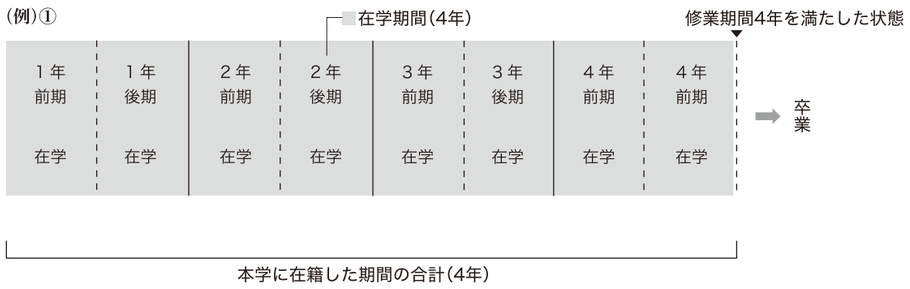
本学では、必要な修業の期間や、在学できる期間の限度を以下のとおり定めています。

・修業期間：修業した期間を「修業期間」といいます。
・修業年限：卒業までに修業すべき年数を定めています。
・在学期間：在学した期間を「在学期間」といいます。
・在学年限：在学できる年数です。在学年限を超えて在学することはできません。
・休学期間：休学した期間を「休学期間」といいます。休学期間は、修業期間や在学期間には含みません。

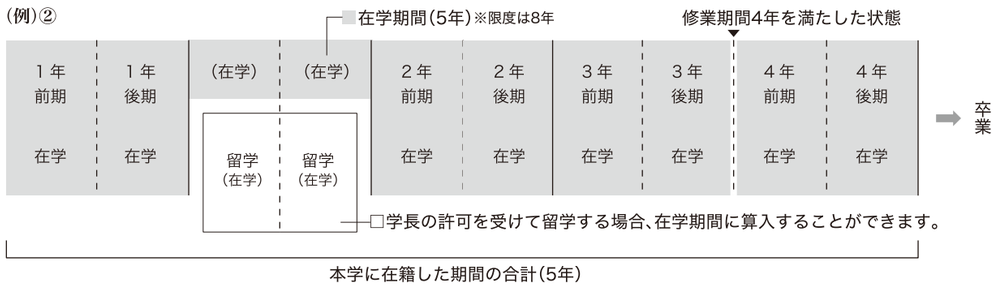
修業年限	在学年限	休学期間の限度
4 年	8 年	4 年

※引き続き 1 年を超えて休学することはできません。ただし、特別の理由がある場合は、学長の許可を得て休学期間を 2 年まで延長することができます。
※編入学・転入学・再入学・転学を許可された学生の在学期間及び在学年限については、関係規程により個々に定められます。

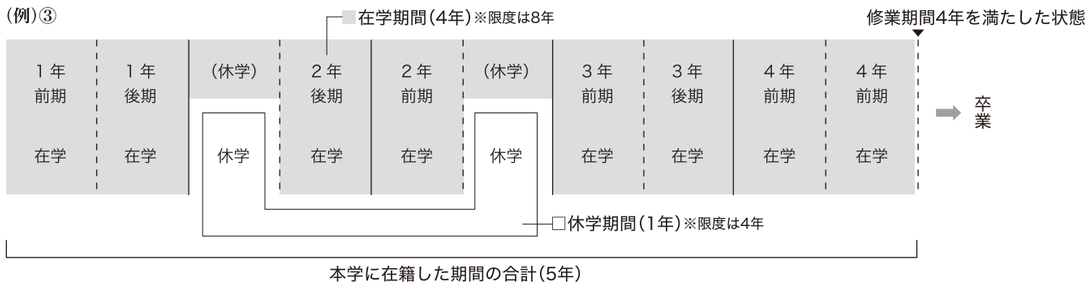
（例）①



（例）②



（例）③



5 単位について（学則第35条、第36条、第37条、第38条、第39条、第40条、第41条, 宮城大学他学群・他学類履修及び他大学履修に関する実施要項）

単位とは、各科目の授業時間と学修の量を数値で示したものです。学群ごとに卒業に必要な単位数が定められており、個々の科目について所定の時間を履修し、試験その他の方法により合格と判定されたときに、はじめて修得できます。また、授業の開講形態（講義、演習、実習等）、開講時間数等により修得できる単位数が定められています。

（1）単位の計算基準

授業科目「1 単位」は、「教室内における授業時間」と「事前・事後学修時間」とを併せて 45 時間の学修時間により構成されることを基準としています。また、講義、演習、実習等の授業の方法に応じ、概ね以下の授業時間及び単位数としています。

講義	1 時限（90 分）の授業 15 回と事前・事後学修で 2 単位
演習	1 時限（90 分）の授業 15 回と事前・事後学修で 1 単位 (2 時限構成の場合 2 単位)
実験・実習・実技	2 時限（180 分）又は 3 時限（270 分）の授業 15 回で 1 単位とします。 実験・実習と講義の併用は、2 時限分の授業 15 回と事前・事後学習で 2 単位とします。

（2）卒業要件単位数

卒業するためには、前述の修業年限を満たした上で、各学群で定める所定の卒業要件単位数を修得しなければなりません。必要単位数は下表のとおりです。

	看護学群	事業構想学群	食産業学群
卒業要件単位数	126単位	125単位	127単位

（3）単位認定について

合格した科目の単位は、前期・後期末に認定されます。集中講義については、開講時期に応じて、通常の科目と単位認定時期が異なる場合がありますので注意してください。なお、前期・後期の途中で退学・休学・除籍をした場合、その期に履修している科目の単位は認定されません。

また、他学群・他学類の授業科目の履修を希望する場合は、学長の承認を得て、60 単位を超えない範囲で単位を修得することができます。他の大学又は短期大学における授業科目の履修、大学以外の教育施設における学修、入学前の既修得単位についても、申請・審査のうえ、学長が教育上有益と認められる場合、他学群・他学類の授業科目で修得した単位数と合わせて 60 単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができます。

これらの他学群・他学類履修、他大学等履修、入学前単位の履修・単位認定に係る申請や、本学開講科目との振替、卒業要件単位への算入などについては、詳細をP24（IV全学共通科目ほか）に記載しています。

6 履修登録について（履修規程第３条、第４条、第５条）

授業に出席し、所定の単位を修得するためには、履修登録が必要です。履修登録の手順の詳細はP18(Ⅲ履修登録) に記載しています。

7 授業について

（1）授業科目

授業科目には、講義，演習，実験・実習、実技があり、必修科目、選択必修科目、選択科目に大別されます。卒業要件として、これらの科目の修得単位数をそれぞれ定めています。

必修科目	学群，学類，コースにおいて，その教育目的を達成するために，修得が義務付けられている科目です。修得が進級要件に含まれる場合があります。
選択必修科目	指定された科目群の中から，学生が一定数の科目を選択して修得することが義務づけられている科目です。修得が進級要件に含まれる場合があります。
選択科目	学生の自由選択により履修することができる科目です。

（2）シラバス（授業計画書）

授業科目毎の授業内容を明示した授業計画等を「シラバス（syllabus）」といいます。
・シラバスには、授業科目の授業概要、授業計画、評価方法などが簡潔に説明されています。
・学内ウェブサイトの「学務管理システム」で参照することができます。
・シラバスは、履修登録の際や、履修の過程において、授業の目的や、全体の流れを確認することに活用してください。

（3）授業への欠席及び遅刻

単位の修得には、授業への出席が必要です。
・一定の出席時間に満たない場合は、試験の受験資格を喪失します。
・欠席届や忌引の取扱いはありません。欠席及び遅刻に対する取扱いは担当教員が判断します。

（4）休講

授業が休止になることを休講といいます。休講は，下表の方法で連絡します。

大和キャンパス	事務部前掲示板等に掲載，学務管理システムに掲載
太白キャンパス	講義棟１階の掲示板等に掲載，学務管理システムに掲載

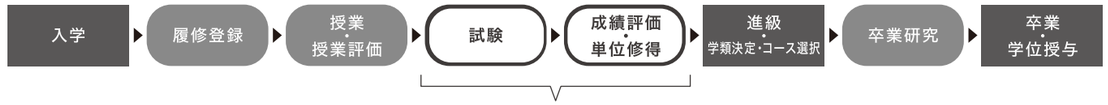
※なお，休講は担当教員の都合による他，気象状況や自然災害等による場合があります。気象状況や自然災害等における休講・試験の延期については，P17 に記載されています。

（5）補講

補講は，休講等により授業時間が不足し，所定の内容が修得しきれないと教員が判断した場合に行われます。補講の有無は，授業中にアナウンスされるほか，休講の連絡方法と同様の方法で連絡します。

(6) 学生による授業評価について

本学では，授業をより充実したものに改善することを目的に，学生による授業評価アンケートを実施しています。学期末に学内ウェブサイト等で案内されますので，履修した科目について回答してください。



8 成績の評価方法について（履修規程第７条、第８条、第９条、第 10 条、第 11 条）

授業科目における成績は、シラバスで示された授業の到達目標に対する学生の学修到達度によって下表のように評価されます。「秀」、「優」、「良」及び「可」を合格として単位が付与されます。学修到達度は、その授業の開講時期の末に期間を定めて行う試験によって評価されます。

なお、必修科目について成績の評価が「不可」となり、単位を修得できなかった場合は、次年度以降に再履修を行い、単位を修得する必要がありますので注意してください。

評価	評点	学修到達度との関係
秀	90点以上	学修到達度が特に優秀な水準で到達目標に達している。
優	80点以上90点未満	学修到達度が優秀な水準で到達目標に達している。
良	70点以上80点未満	学修到達度が良好な水準で到達目標に達している。
可	60点以上70点未満	学修到達度が到達目標に達している。
不可	60点未満	学修到達度が到達目標に達していない。

（1）試験

試験は，筆記試験，口述試験，実技試験又は実験，実習，課題レポートにより行います。受験の際は，学生証を机上に提示することで本人確認を行いますので，学生証を必ず持参してください。下表の内容に該当する場合は，試験を受けることができませんので注意してください。

①	履修登録をしていない学生。
②	出席時間が授業時間の5分の4に満たない学生。
③	試験時刻に20分を超えて遅参した学生。

試験の日程は，試験期間開始前に，大和キャンパスにおいては事務部前掲示板で，太白キャンパスにおいては講義棟１階の掲示板でお知らせします。

（2）レポート・制作物等の提出方法

レポート・制作物等を提出する際は，次の点に注意してください。

提出方法	担当教員により，提出場所や方法の指示がなされますので，指示に従ってください。 また，提出期限を必ず守って，所定の場所に提出してください。 下記のレポートボックスへ提出が指示される場合があります。	
	[大和キャンパスレポートボックス] ※本部棟3階及び4階、研究ラウンジ受付に設置	[太白キャンパスレポートボックス] ※管理棟1階事務部窓口付近に設置
	※誤って他の科目のレポートボックスに投函されたレポートは、提出期限後に未提出扱いとして本人に返却します。	
記載事項	①所属学群・学類・コース，②学籍番号，③氏名，④授業科目名，⑤担当教員名を記載してください。 その他担当教員から指示された事項があれば記入してください。 氏名等が未記入の場合は，評価の対象となりませんので注意してください。	

（3）追試験

所定の試験に欠席した学生に対する追試験は実施しません。ただし，病気その他特別の理由によりやむを得ず受験できなかった学生に対しては，本人からの願い出により追試験を行うことがあります。追試験の申請は，試験終了後 1 週間以内に，所定の様式により申請を行い，担当教員の承認を得る必要があります。様式や添付書類等は，学内ウェブサイトを参照してください。

（4）再試験

試験を受験して不合格になった学生に対する再試験も実施しません。ただし，試験終了後に教授会等が必要と認めた場合は実施されることがあります。なお，再試験の成績評価は可が上限となります。

入学 ▶ 履修登録 ▶ 授業・授業評価 ▶ 試験 ▶ 成績評価・単位修得 ▶ 進級・学類決定・コース選択 ▶ 卒業研究 ▶ 卒業・学位授与

(5) グローバルコミュニケーション科目の受験資格の認定について

基盤教育の「グローバルコミュニケーション科目」では，学外の検定試験等において所定の条件を満たした場合、申請・審査の上、授業の出席を一部免除することができます。ただし、学外の検定試験等については、入学後に受験したものに限られるほか、出席を一部免除された場合でも，定期試験は必ず受験する必要がありますので注意してください。

詳しくは「グローバルコミュニケーション科目」の専任教員へお問合せください。

(6) 成績発表について

授業科目における成績の評価については、前期は 9 月末、後期は 3 月末に学内ウェブサイトで確認することができます。また、評価の内容は成績証明書に反映されます。

※「不可」の評価となった科目に限り、今後の学修に資するため、成績発表日を含む 10 日間のみ、成績質問を受け付けます。成績質問は、学内ウェブサイトから所定の様式を取得し、提出してください。

(7) GPA制度

本学では、GPA制度を採用しています。GPA（グレードポイント平均値）とは、各授業科目の 5 段階の成績評価に対応して 4 ～ 0 のGPを付与して算出する、1 単位あたりの平均値です。GPは下表の数値としています。

成績	秀	優	良	可	不可
GP	4	3	2	1	0

・学修状況および成果を示す指標として「学期GPA」「年度GPA」「通算GPA」の 3 種類を設定しています。計算式は以下としており、小数点第 3 位以下を切り捨てて表記しています。

①学期GPAの計算式

$$\text{学期GPA} = \frac{\text{（その学期に評価を受けた科目で得たGP×その科目の単位数）の合計}}{\text{その学期に評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

②年度GPAの計算式

$$\text{年度GPA} = \frac{\text{（その年度に評価を受けた科目で得たGP×その科目の単位数）の合計}}{\text{その年度に評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

③通算GPAの計算式

$$\text{通算GPA} = \frac{\text{（（各学期に評価を受けた科目で得たGP×その科目の単位数）の合計）の総和}}{\text{（各学期に評価を受けた科目の単位数の合計）の総和}}$$

・GPA は、卒業要件となる授業科目に含まれるものを対象科目としています。以下の科目はGPA対象科目に含まれません。

ア）編入学または転入学した際の単位認定科目
イ）本学入学前に修得した単位認定科目
ウ）他大学等との単位互換等で修得した科目

・履修登録した科目を放棄すると、科目の成績は「不可」となり通算GPA に算入されます。履修を取り消す場合は、必ず履修取り消し期間中に所定の手続きを行ってください。

入学 ▶ 履修登録 ▶ 授業・授業評価 ▶ 試験 ▶ 成績評価・単位修得 ▶ 進級・学類決定・コース選択 ▶ 卒業研究 ▶ 卒業・学位授与

9 進級について（履修規程第 12 条）

	看護学群	事業構想学群・食産業学群
全年次共通	配当年次において未修得の必修単位が通算 6 単位以下であること。 （複数の年次で配当されている科目は，上級年次が配当年次）	
2 年次進級要件	卒業要件単位数のうち 30 単位以上を修得していること。	
3 年次進級要件	卒業要件単位数のうち64単位以上を修得していること。 1･2年次に開講されている必修の専門教育科目の単位をすべて修得していること。	卒業要件単位数のうち64単位以上を修得していること。
4 年次進級要件	卒業要件単位数のうち96単位以上を修得していること。3年次に開講されている実習(母性，小児，成人，老年，精神，地域，在宅の7つの領域)の単位をすべて修得していること。	卒業要件単位数のうち96単位以上を修得していること。 ※事業構想学群は，加えて3年次に開講されている卒業研究科目の単位を修得していること。

10 学類の決定・履修コースの選択について（履修規程第 13 条、第 14 条）

(1) 学類の決定

入学時に学類が決定していない学生は，1年次末までに所定の方法により所属する学類が決定されます。学類毎に定員を設定していますので，必ずしも希望する学類に所属できるとは限りません。学類の決定方法等については，ガイダンス等で案内されます。

(2) 履修コースの選択

事業構想学群と食産業学群では、学類毎に専門性の高い科目を学べるよう履修コースを設けていますので、履修コースの届出時期までに希望するコースの届出を行ってください。

学群	学類	履修コース	届出時期
看護学群	看護学類	―	―
事業構想学群	事業プランニング学類	事業戦略コース 事業管理コース	2年次の7月末日
	地域創生学類	地域政策コース 地域科学コース	
	価値創造デザイン学類	感性情報デザインコース 生活環境デザインコース	
食産業学群	食資源開発学類	動物生産科学コース 植物生産科学コース	
	フードマネジメント学類	フードビジネスコース フードサイエンスコース	2年次の1月末日

11 転学群・転学類及びコース変更について

(1) 転学群・転学類について（学則第 22 条、転学群及び転学類に関する規程）

諸事情により転学群・転学類を希望する場合、後述するクラス担当教員等に相談してください。転学群及び転学類の選考は、原則として欠員のある場合に限り行います。また、新たな転学類等を受け入れるかどうかは、教育上の支障の有無を勘案した上で判断するので、毎年度必ず選考が行われるとは限りません。詳細は、学内ウェブサイトにある「宮城大学転学群及び転学類に関する規程」で確認してください。

(2) コース変更について（履修規程第 14 条）

選択した履修コースの変更を希望する場合は、所属する学群の学群長の許可が必要となります。手続き方法や時期等については、後述するクラス担当教員等に確認してください。

入学 ▶ 履修登録 ▶ 授業・授業評価 ▶ 試験 ▶ 成績評価・単位修得 ▶ 進級（学類決定・コース選択） ▶ 卒業研究 ▶ 卒業・学位授与

12 卒業認定・学位授与について（学則 41 条）

修業年限を満たし、各学群で定める卒業要件を満たした学生は、卒業が認定され、学位が授与されます。各学類を修了した者に授与される学位は下表のとおりです。

	学類	学位
看護学群	看護学類	学士（看護学）
事業構想学群	事業プランニング学類	学士（事業プランニング学）
	地域創生学類	学士（地域創生学）
	価値創造デザイン学類	学士（価値創造デザイン学）
食産業学群	食資源開発学類及びフードマネジメント学類	学士（食産業学）

13 学修支援について

学修や進路上、学生生活の悩みや不安などがある場合、所属するクラスを担当する教職員が窓口となって相談を受け付けます。

また、学生がクラス担当教員以外の教員の研究室を訪れ、授業内容等について気軽に相談できる時間として「オフィスアワー」を設けています。詳細については学内ウェブサイトの「学生便覧」を参照してください。

なお、非常勤講師への学修上の相談や質問は、非常勤講師の来学時に行ってください。

（1）教員へ相談したいとき

オフィスアワーの対応時間等については学内ウェブサイトに掲載されています。ただし、業務上、各教員の都合がつかない場合もありますので、各教員へメール等で事前連絡の上、相談することを推奨しています。

（2）職員へ相談したいとき

事務部の窓口が利用できる時間帯は、平日８：３０～１７：５０です。事務職員への相談や書類等の提出は、事務部窓口が利用できる時間帯で行ってください。

（3）学生相談室、保健室について

・保健室：大学構内でのケガや体調不良については、保健室で対応することが可能です。
・学生相談室：カウンセラーが常駐し、対人関係、こころの健康、生活全般、学業・進路など、学生生活における困りごとをはじめ、様々な相談ができる場所です。費用は無料で、プライバシーは厳守されます。
・利用時間はキャンパス毎に異なりますので、学内ウェブサイトの「学生便覧」で確認してください。

14 その他

（1）大学からの連絡

学内行事、集中講義などで連絡事項が発生した場合や、学生生活に関する重要なお知らせは、学内メールで周知する場合がありますので、学内メールを確認してください。

また、学内メールの他、大和キャンパスにおいては事務部前の掲示板、太白キャンパスにおいては講義棟１階の掲示版、学務管理システム（学内の場合 https://p.campus.myu.ac.jp/portal/ 学外の場合 https://vpn.myu.ac.jp/portal/ からログイン）等を通じて連絡を行うことがあります。登下校時には、掲示板等を確認してください。

（2）気象状況や自然災害等による休講・試験の延期

気象状況や自然災害等により学生及び教職員の通学・通勤が困難な場合や困難になると想定される場合は、安全確保のため休講及び試験の延期措置を行います。

時間帯	気象状況	休校
午前7時の時点	仙台市又は大和町に大雨・洪水・暴風・大雪・暴風雪のいずれかの「警報」が発令され、スチューデントサービスセンター長及び副センター長により休講及び試験の延期措置が必要と判断した場合。（JR在来線〈東北本線・常磐線・仙山線・仙石線〉の仙台駅を含む区間の運休又は運転見合わせや仙台市内小中高校の休校を目安として判断します。）	午前の授業（1・2限）『休講』
午前10時の時点		午後の授業（3～5限）『休講』
※実習、インターンシップ等学外で実施される科目の実施有無については、当該基準に準じ各担当教員（看護学実習の場合は学群長又は実習ワーキンググループ長）の判断によります。		

上記のほか、学長及びスチューデントサービスセンター長が学生の安全確保のため必要があると判断した場合学外ウェブサイト、メールなどによって周知されます。

（3）学生保険について

学内外で教育研究活動中、実習中、通学途中、サークル活動中などに発生した傷害事故（自分自身のケガ）・賠償事故（他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりした場合の補償）に備えるため、入学時に学生保険に加入しています。詳細は、学内ウェブサイトの「学生便覧」に記載していますので、参照してください。

（4）経済支援について

授業料の納付や、減免等申請、奨学金に係るお知らせなどは、学内ウェブサイトの「学生便覧」に記載していますので参照してください。

Ⅲ. 履修登録

ここでは、履修登録に係る手続きについて説明します。これらの内容の詳細は履修規程で定められているほか、学内ウェブサイトに記載しています。

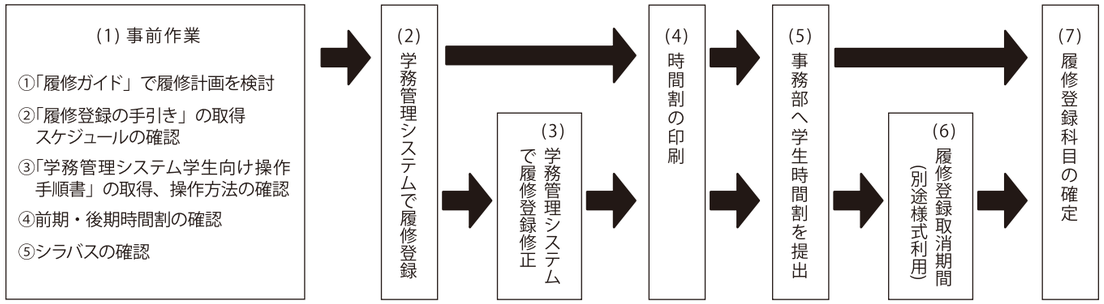
1 履修登録とは

授業に出席し、所定の単位を修得するためには、定められた期間内に履修登録を行う必要があります。計画を立て、確実に卒業要件を満たすように履修登録を行ってください。

本学では、履修登録に学務管理システムを利用するほか、履修漏れを防ぐため、事務部窓口へ提出が必要となる書類があります。詳細は、学内ウェブサイトを参照してください。

2 履修登録の手順

履修登録の手順は、下図のとおりです。



(1) 事前作業

①「履修ガイド」で履修計画を検討

履修ガイドには、各学群のカリキュラムの他、年次科目の詳細が記載されています。自分の希望する進路に合わせて、履修計画を検討してください。

②「履修登録の手引き」の取得，スケジュールの確認

学内ウェブサイトに、「履修登録の手引き」が掲載されます。履修登録に係る詳細のスケジュールなど、重要な情報が記載されていますので必ず確認してください。

③「学務管理システム学生向け操作手順書」の取得・確認

学内ウェブサイトに「学務管理システムの操作手順書」が掲載されます。基本的な操作手順が記載されていますので、確認してください。

④ 時間割の確認

学内ウェブサイトに、当該年度の前期・後期の時間割が掲載されます。同日・同じ時限に開講されている科目は同時に履修できませんので、注意してください。

⑤シラバスの確認

学務管理システムから授業科目のシラバスを確認することができます。シラバスには、授業科目の授業概要、授業計画、評価方法などが簡潔に説明されていますので参考としてください。

(2) 履修登録

定められた期間内に学務管理システムで履修登録の操作をしてください。選択された内容は、学務管理システムの「時間割」で確認することができます。また、後期に開講する科目についても前期の履修登録期間に履修登録を行う必要がありますので注意してください。

(3) 履修登録修正

履修登録の内容を修正したい場合、定められた期間内であれば、学務管理システムから登録内容を修正することができます。後期科目については、後期授業開始後に同様の修正期間を設けます。なお、学務管理システムにおいて履修登録科目のない学生については、注意喚起のため、未登録者として事務部前掲示板に掲示します。

(4) 時間割の印刷

履修登録が行われたことを学生・職員が相互に確認するため、最終的な登録結果として、事務部提出用と学生控え用に時間割を２部印刷してください。印刷したものは、後日提出となります。なお、所定の期間を過ぎてからの登録内容の追加・変更は応じられませんので、注意してください。

(5) 事務部へ学生時間割を提出

印刷した時間割を事務部窓口の所定の提出ＢＯＸに提出してください。

(6) 履修登録取消期間

定められた期間内であれば、履修登録を取り消すことができます。履修登録を行った科目は，自己都合で受講を取りやめても「不可」として評価され、ＧＰＡに反映されます。履修の意思がない場合は、定められた期間内に履修登録の取り消しを行ってください。

(7) 履修登録科目の確定

履修登録に係る所定の手順を終えると、最終的な登録内容が学務管理システムの時間割で確認できます。登録内容が窓口に提出した時間割と異なっている場合は、事務部に連絡してください。

3 履修登録上の留意点

(1) 履修登録可能な単位数の上限

本学では，履修登録できる単位数の上限を定めています。

時間帯	履修登録単位数の上限
1年次	年間49単位まで（基盤教育科目から35単位まで）
2～4年次	各年次における履修登録単位数の上限は，年間49単位まで

※ただし，以下の科目の単位数は，履修登録単位数の上限には含まれません。
・各学群の卒業要件に含まない科目
・春季休業日，夏季休業日及び冬季休業日に開講される集中講義等の科目
・他大学又は短期大学から履修を許可された科目のうち，教授会が特に必要と認めた場合

(2) 単位修得済み科目の履修登録の禁止

一度単位を修得した科目は、再度履修登録を行うことはできません。

(3) 集中講義科目の日程確認

集中講義科目を２科目以上履修する場合は、日程が重複していないかどうかを十分確認した上で履修登録してください。

(4) その他

履修登録期間中には、履修登録に係る連絡事項が伝えられますので、所定の掲示板や学務管理システム、学内メールを確認してください。

Ⅳ. 全学共通科目ほか

1 コミュニティ・プランナープログラムについて

(1) コミュニティ・プランナープログラムとは

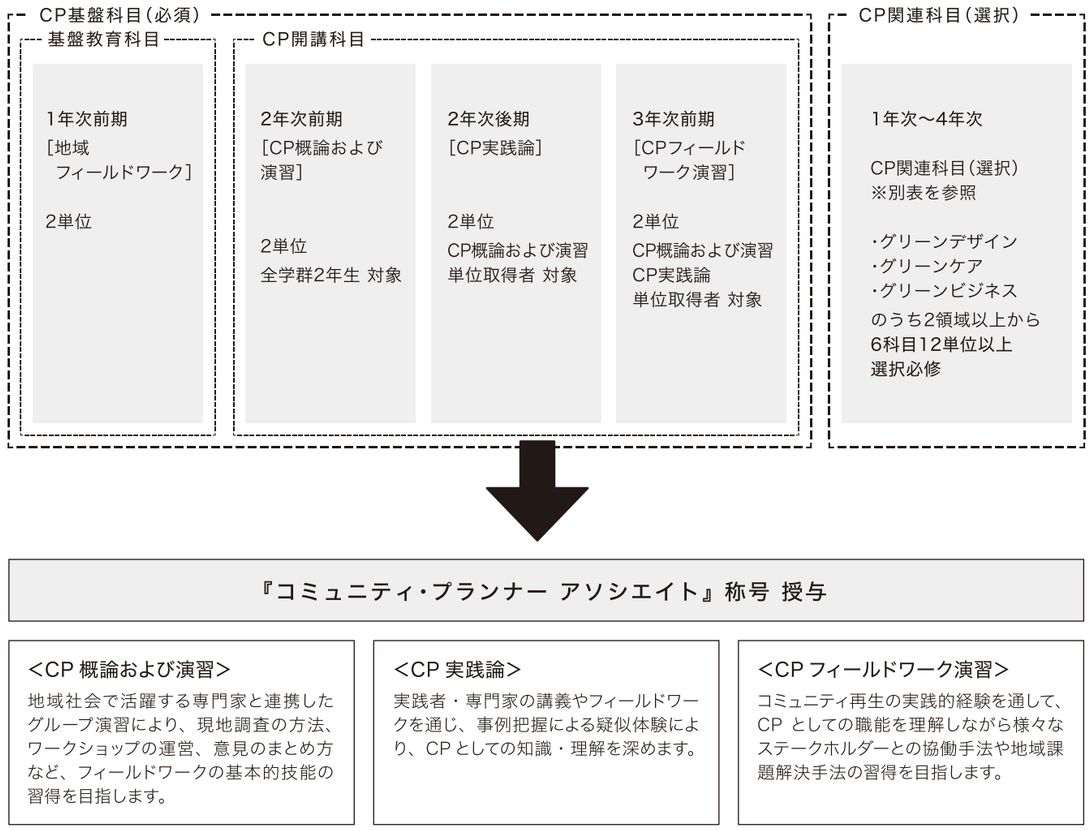
地域の歴史・文化・資源を活かしたコミュニティづくりや、地域の人々と共に課題解決ができる人材の育成を目指し、宮城大学と兵庫県立大学が連携して構築・推進している教育プログラムです。このプログラムでは、地域コミュニティの現場に触れ、自らの目で見て･聞いて･体験し、学習することで、地域の人々と共に考えながら、地域本来の良さを活かした、これからのコミュニティづくりの提案を行える技能の習得を目指しています。

(2) 単位

必修科目は、コミュニティ・プランナー（CP）基盤科目である基盤教育科目の「地域フィールドワーク」1 科目 2 単位、CP 開講科目の「CP 概論および演習」「CP 実践論」「CP フィールドワーク演習」の 3 科目 6 単位。また、選択科目として、各学群既存科目である「CP 関連科目」のうち 2 領域以上から 6 科目 12 単位以上を履修します。合計 20 単位以上を履修することで宮城大学･兵庫県立大学「コミュニティ･プランナー育成プログラム」の運営に関する覚書に基づき、卒業時に『コミュニティ・プランナー アソシエイト』の称号が授与されます。

〈 CP プログラム科目構成 〉

CP 基盤科目（4 科目 8 単位）+ CP 関連科目（6 科目 12 単位）= 計 20 単位以上



<CP 概論および演習>
地域社会で活躍する専門家と連携したグループ演習により、現地調査の方法、ワークショップの運営、意見のまとめ方など、フィールドワークの基本的技能の習得を目指します。

<CP 実践論>
実践者・専門家の講義やフィールドワークを通じ、事例把握による疑似体験により、CP としての知識・理解を深めます。

<CP フィールドワーク演習>
コミュニティ再生の実践的経験を通して、CP としての職能を理解しながら様々なステークホルダーとの協働手法や地域課題解決手法の習得を目指します。

(3) プログラムの考え方および特色

①GREENの視点

持続可能（サスティナブル）な地域コミュニティを構築し、維持してゆくためには、緑ある環境をベースにして、人、植物、動物、すべての生命（いのち）がつながり、関わり合うことが必要です。本プログラムでは、このような、すべての生命（いのち）のつながり、関わりを意味するものを「GREEN」と呼びます。「GREEN」は花や樹木などの植物だけでなく、「みどり色」の持つイメージそのものを指し、光り輝く緑からイメージできる生命（いのち）の輝き、人びとが集い、笑顔があふれる地域社会など、持続可能な地域社会を支える新しい視点です。

②ステークホルダーと連携したフィールドワーク

カリキュラムは主に「講義+フィールドワーク（実践）」の形式を取り、フィールドでの実践を通して講義での学びを深めていきます。また、第一線で活躍する専門家と共に学ぶことのできる実践的な科目構成となっています。自治体や企業・NPO 等の地域社会のステークホルダーと連携したフィールドワークを取り入れることで、コミュニティから求められている企画力やファシリテーション能力、プレゼンテーションや実行力といった社会に貢献できる能力を育成します。

(4) 履修方法および履修手続等

①履修方法

通常の履修登録と同様に学務管理システムで行ってください。履修登録の際は、別冊で配布される「履修登録の手引き」をよく確認してください。

②履修登録単位数の上限と卒業要件単位への参入

履修登録単位数には上限があります。P19「3(1) 履修登録可能な単位数の上限」を確認してください。なお、卒業要件単位に入らない科目は、履修登録単位の上限からも除外されます。

看護学群は、基盤教育科目「地域フィールドワーク」のみ卒業要件単位として認められ、前期の履修登録単位数に含まれます。

事業構想学群および食産業学群は、基盤教育科目「地域フィールドワーク」と「CP 概論および演習」が卒業要件単位として認められ、前期の履修登録単位数に含まれます。「CP 実践論」「CP フィールドワーク演習」は卒業要件単位には入りません（地域創成学類を除く）。

③CP 関連科目

CP 関連科目については、各学群学類で開講している既設科目の履修となります。他学群にて開講している科目を履修する場合には、学群学類毎に履修要件が異なります。詳しくは「宮城大学他学群・他学類履修及び他大学等履修に関する実施要綱」を確認してください。

※CP 関連科目は、各シラバス・時間割どおりに開講されますので、別キャンパスの科目を履修する場合はキャンパス間の移動時間等に注意して履修登録を行ってください。

別表　CP関連科目（2領域以上、6科目12単位以上を修得）

領域	科目名	開講年次	単位数	開講学類	科目名	開講年次	単位数	開講学類
グリーンケア	人間発達学	1前	2	看護	行政学	3前	2	地域創生
	人間関係論	1後	2	看護	社会的共通資本	3前	2	地域創生
	ライフステージ看護学概論Ⅰ（看護学群の学生のみ履修可）	1後	2	看護	地理情報分析	3前	2	地域創生
	ライフステージ看護学概論Ⅱ（全学群の学生履修可）	2前	2	看護	地域交流論	3後	2	地域創生
	災害活動論	1後	2	看護	コミュニティ創造	3後	2	地域創生
	臨床心理学	1後	2	看護	地方自治	3後	2	地域創生
	地域看護学概論	2後	2	看護	地域福祉政策	4前	2	地域創生
	地域政策概論	2前	2	地域創生	栄養科学	3前	2	食資源開発
	地域調査法	2前	2	地域創生	食品の安全性管理	3後	2	食資源開発
	地域資源論	2後	2	地域創生	動物福祉論	3後	2	食資源開発
	地域社会学	2後	2	地域創生	ライフステージ栄養学	4前	2	フードマネジメント
	地域分析学	2後	2	地域創生	フードコミュニケーション	4前	2	食資源開発 フードマネジメント
	社会調査法	2後	2	地域創生				計25科目
グリーンデザイン	地域社会・産業とデザイン	1後	2	地域創生 価値創造デザイン 事業プランニング	災害の科学（水）	3前	2	地域創生 価値創造デザイン
	地域政策概論	2前	2	地域創生	災害の科学（土）	3後	2	地域創生 価値創造デザイン
	地域調査法	2前	2	地域創生	地域交流論	3後	2	地域創生
	地域資源論	2後	2	地域創生	コミュニティ創造	3後	2	地域創生
	地域社会学	2後	2	地域創生	地方自治	3後	2	地域創生
	地域分析学	2後	2	地域創生	景観工学	3後	2	地域創生 価値創造デザイン
	社会調査法	2後	2	地域創生	都市計画	3後	2	地域創生 価値創造デザイン
	国土・地域計画	2後	2	地域創生 価値創造デザイン	交通計画	3後	2	地域創生 価値創造デザイン
	伝統と文化	2後	2	価値創造デザイン	地区・街区計画	4前	2	地域創生 価値創造デザイン
	行政学	3前	2	地域創生	地域環境政策	4前	2	地域創生
	社会的共通資本	3前	2	地域創生	防災計画	4前	2	地域創生
	地理情報分析	3前	2	地域創生	環境科学	2後	2	食資源開発 フードマネジメント
	風土・伝統デザイン	3前	2	価値創造デザイン	食品の安全性管理	3後	2	食資源開発
	水資源利用学	3前	2	地域創生 食資源開発	フードコミュニケーション	4前	2	食資源開発 フードマネジメント
	都市と文化	3前	2	地域創生 価値創造デザイン				計29科目
グリーンビジネス	公衆衛生学	1後	2	看護	社会起業論	4前	2	地域創生
	地域活性化とビジネス	1後	2	地域創生	食料・農業・農村政策	3前	2	食資源開発 フードマネジメント
	地域政策概論	2前	2	地域創生	植物性食材生産学Ⅱ（露地園芸）	3前	2	食資源開発
	地域調査法	2前	2	地域創生	植物性食材生産学Ⅲ（施設園芸）	3前	2	食資源開発
	地域資源論	2後	2	地域創生	畜産食品学	2･3後	2	食資源開発
	地域社会学	2後	2	地域創生	ローカルフードシステム論	3前	2	フードマネジメント
	地域分析学	2後	2	地域創生	食産業政策論	3後	2	フードマネジメント
	社会調査法	2後	2	地域創生	食品経済・政策論演習	3後	2	フードマネジメント
	行政学	3前	2	地域創生	食材生産経営学	3後	2	フードマネジメント
	社会的共通資本	3前	2	地域創生	食資源開発学	3後	2	食資源開発
	地理情報分析	3前	2	地域創生	食品マーケティング論	3後	2	食資源開発
	地域交流論	3後	2	地域創生	植物性食材生産実験実習Ⅱ	3後	2	食資源開発
	コミュニティ創造	3後	2	地域創生	付加価値動物性食材生産法	3後	2	食資源開発
	地方自治	3後	2	地域創生	食品の安全性管理	3後	2	食資源開発
	地域産業政策	4前	2	地域創生	フードコミュニケーション	4前	2	食資源開発 フードマネジメント
								計30科目

2 他学群・他学類履修，他大学等履修，入学前既修得単位の単位認定について

(1) 他学群又は他学類の履修について

他学群・他学類の授業科目の履修を希望する場合は，学長の承認を得て，60 単位を超えない範囲で単位を修得することができます。他学群・他学類として学生が申請できる授業科目は下表のとおりです。

学群	他学群・他学類の学生が申請できる授業科目の範囲
看護学群	授業形態が「講義」区分の科目
事業構想学群	科目区分「卒業研究」を除く全ての科目
食産業学群	全ての科目（ただし，科目区分「卒業研究」については，食産業学群の学生が，所属していない他学類の科目を申請できる）

(2) 単位認定に係る申請について

他学群又は他学類の授業科目の履修，他の大学又は短期大学における授業科目の履修等，大学以外の教育施設における学修，入学前の既修得単位の認定に係る申請は下表のとおりです。これらの申請が必要な場合は，事務部窓口にて，あらかじめ相談してください。

	学群	要件	履修に係る申請	単位認定に係る申請	
①	本学の他学群・他学類の授業科目を履修したいとき（他学群・他学類履修）	あらかじめ当該授業科目担当教員の確認を得ること	前期又は後期の授業科目履修登録期限前までに，承認申請を行うこと	当該単位を修得した年の翌年の前期授業科目の履修登録期限日までに，在学中修得単位の認定申請を行うこと　※1	あわせて６０単位を超えないもの
②	在学中に，他の大学又は短期大学（外国の大学・短期大学を含む），高等専門学校の専攻科等における授業科目を履修したいとき（他大学等履修）	他大学等との協議又は単位互換協定等に基づくもの	事前申請を行うこと		
③	入学する前に，大学又は短期大学において修得した単位を認定したいとき（入学前既修得単位）			入学初年度の指定された期日までに，入学前既修得単位の認定申請を行うこと※1	

※1　②、③の認定申請は、所定の申請書に加えて、以下の書類を添える必要があります。
・成績証明書（単位を修得した大学等の発行するもの）
・申請する授業科目について、単位を修得した大学等が作成した授業科目の内容、単位制度等、単位の換算認定に必要な資料

※なお、学都仙台単位互換ネットワークに関する協定に基づく授業科目に関する履修については、P26 に記載されています。

(3) 単位認定された授業科目の本学開講科目との振替について

②他大学等履修、③入学前既修得単位として単位認定された科目については、本学開講科目において単位を修得したものとして、申請・審査の上、振替えることができます。

本学開講科目への振替の可否は、学群教授会において、所属学群及び学類開講科目と、単位認定された科目の授業内容等を相互に比較し、その類似性により決定します。

ただし、看護学群において振替により卒業要件単位に算入することのできる授業科目は基盤教育のみとし、その上限を 8 単位としています。

(4) 振替できない科目の卒業要件単位数への算入について

単位認定された科目のうち、振替できない科目の卒業要件単位数への算入は下表のとおりです。なお、これらの科目について、卒業要件単位算入の認定を希望する学生は、別途申請を行う必要がありますので、事務部窓口にて、あらかじめ相談してください。

		区分（略称）	看護学群	事業構想学群	食産業学群	
留学生を除く学生	①	他学群・他学類履修	算入不可	基盤教育科目に区分し３単位まで算入可能	基盤教育科目に区分し３単位、他学類科目は専門関連科目に区分し８単位、総計８単位まで算入可能	総計 8 単位まで算入可能
	②	他大学等履修			基盤教育科目に区分し、3 単位まで算入可能	
	③	入学前既修得単位				
留学生	①	他学群・他学類履修	算入不可	算入不可	他学類科目は専門関連科目に区分し，総計８単位まで算入可能	総計 8 単位まで算入可能
	②	他大学等履修			算入不可	
	③	入学前既修得単位				

(5) 単位認定を受けた授業科目の成績表記について

単位認定された科目について，成績表記は下表のとおりです。なお，①については，本学の開講科目のため，成績及び科目担当教員名が明記されますが，②③については，単位が認定されたことのみ記載されます。

	区分		科目分類	科目区分	科目名称	単位数	成績評価の表記	科目担当教員名
①	他学群・他学類履修		他学群・他学類	履修した科目の区分	履修した科目の名称	履修した科目の単位数	秀・優 良・可	記載
② ③	他大学等履修・入学前既修得単位	うち振替可能授業科目	他大学等	振替した科目の区分	振替した科目の名称	振替した科目の単位数	認定	空欄
		うち振替できない授業科目		―	履修した他大学等の授業科目名称	原則として、履修した他大学等の配当単位数		

3 学都仙台単位互換ネットワーク　単位互換制度

（1）学都仙台単位互換ネットワーク　単位互換制度とは

学都仙台単位互換ネットワークは、この制度に参加する大学、短期大学、高等専門学校に在籍する学生が、他の参加校の授業科目を履修し、そこで取得した単位を在籍する大学等の単位として認定する制度です。この制度による授業科目の履修には、原則として、授業料はかかりません（放送大学の授業料を除く。実習費用等が別途かかる場合があります）。履修できる授業科目（シラバス）や受講者数、その他の条件等については、受入れ大学が決定し、募集要項に定めています。

提供される科目や出願期間は大学ごとに毎年変わりますので、詳細は、学都仙台コンソーシアム単位互換ネットワークのウェブサイト（http://www.gakuto-sendai.jp/for_s/index.html）を確認してください。

（2）単位互換制度の申請方法

①受講手続きの流れ

	募集要項・出願期間の確認	→	履修申請（出願）	→	履修許可・受講開始	→	成績連絡	→	卒業要件単位参入
前期	前年度3月		3月～4月		4月		10月		翌年度４月
後期	前年度3月		8月（大学により4月）		10月		3月		翌年度４月
手続きの流れ	各大学から提供科目・募集要項提示 ウェブサイトにて公開開始		ウェブサイトに出願期間提示 各大学の出願期間の1週間前までに単位互換願書を宮城大学事務部あてに提出		宮城大学事務部から履修の案内を受け取りしだい、授業の受講開始		宮城大学事務部より成績連絡		既修得単位認定の申請を宮城大学事務部に提出

②出願資格

宮城大学に在籍する正規学生で、申請し許可を受けた方が対象です。ただし、科目によっては、女子学生に限る場合や「○年次生以上」という受講の制限を設けている場合がありますので、科目の履修を希望する大学等の募集要項を確認してください。

なお、相手先の大学によっては、最初の受講前に事前連絡が必要になる場合がありますので、各受入れ大学のウェブサイト、募集要項で確認してください。

③出願期間

出願期間は、前期科目及び通年科目は４月上旬、後期科目は９月中旬で、相手先の大学によって違います。希望する大学の出願締め切りの１週間前までに、宮城大学事務部へ④の願書を提出してください。なお、相手先の大学によっては、前期・後期科目ともに４月を出願期限としている場合があります。

④出願方法

履修を希望する場合は、「単位互換学生（特別聴講学生）願書」（共通様式または各校指定様式）に必要事項を記入して、宮城大学事務部へ提出してください。その他必要書類があれば窓口でお知らせします。

⑤授業の履修

出願があってから、相手先の大学で審査が行われ、受講の可否が決定します。受入校からの「受入決定通知」をもって履修決定となりますが、それ以前でも講義を聴講することは可能です。受講が決定したら宮城大学事務部よりお知らせします。

⑥成績連絡

履修した科目の成績は、宮城大学を通じてお知らせします。相手先大学から連絡があり次第、掲示やメールでお知らせしますので、宮城大学事務部窓口で受け取ってください。

⑦単位の認定及び卒業要件単位への参入

⑥で成績が通知された場合、既定の範囲内で単位の認定及び卒業要件単位に算入することができます。［詳細は、「宮城大学他学群・他学類履修及び他大学等履修に関する実施要綱」に定めていますので、学内ウェブサイトで確認して下さい。］

4 学外研修・グローバルインターンシップ

(1) 学外研修・グローバルインターンシップとは

国内･海外を問わず学外における一定期間の計画的なプログラムに参加し、一定の成果を得られた場合、全学共通科目の「学外研修」の単位を修得することができます。また、主に海外における一定期間の研修を通して、グローバル人材として必要なスキル、社会で必要なコミュニケーション能力を身につけ、一定の成果を得られた場合、全学共通科目の「グローバルインターンシップ」の単位を修得することができます。

（2）科目の履修方法

学外研修、グローバルインターンシップの２科目とも、学内選考のうえで参加が決定します。そのため、学務管理システムでの履修登録は行わず、国際交流・留学生センター等から案内される募集手続きに従って応募します。詳細は国際交流・留学生センター等で配布する募集要項を確認してください。なお、看護学群は実習期間により参加できる日程が限られる場合がありますので、実習日程を確認の上で応募してください。

メモ欄：

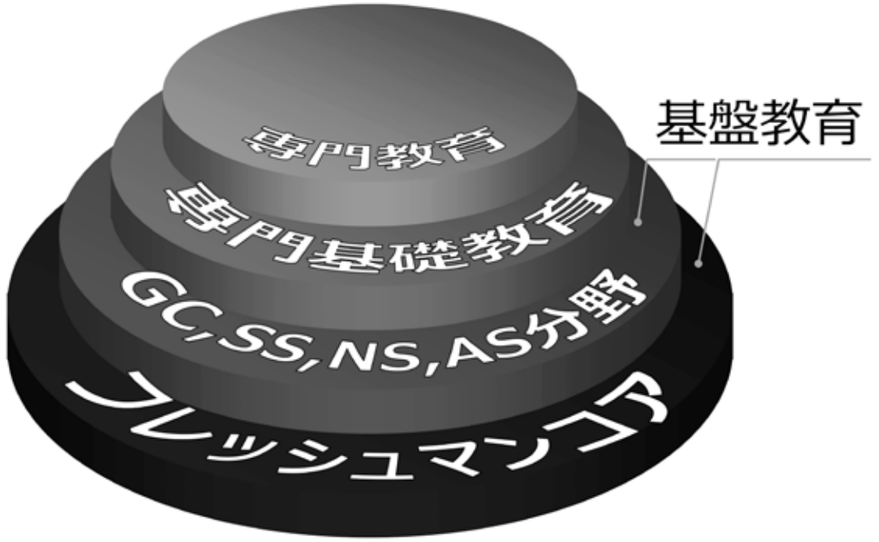
I 宮城大学カリキュラムの全体像
II 総論
III 履修登録
IV 全学科共通科目ほか
V 基盤教育

メモ欄：

V. 基盤教育

皆さんは大学での学びをどのようにお考えでしょうか。これまでの皆さんの学びの方法は、文法であれ、法則であれ, 情報活用のスキルであれ、あるいは歴史・文化・社会についての知識であれ, 教えられたことを覚える、といったものではなかったでしょうか。しかし、大学での学びは、教えられたことを覚えるだけでは十分とはいえません。大学での学びの中心は、教えられたことを踏まえながらも、自ら考え、課題を見出し、その解決策を探求していくことにあります。そのためには、自ら調べ、考えを深めることのみならず、他者と意見を交わし、自らとは異なる見解や文化のなかに問題解決の可能性を探ることも必要となります。学問に触れ、地域とかかわり、他者と交わるなかで、身近な地域に、多様な社会に、そして広い世界のなかに自らを位置付けることによって、将来の展望を持つことができるようになる。宮城大学は、このような考えのもと、大学での学びが生涯の学びの糧となることを願っています。

その意味では、皆さんの大学での学びが充実したものとなることが肝要です。そして、そのための最初の働きかけが宮城大学の基盤教育です。基盤教育では、３つの力（知）を養います。１つ目は、基礎的な言語・数量・情報を使いこなす力（技法知）。２つ目は、学知を理解し、検討し、新たな視点を見出す力（学問知）。そして３つ目は、自己と他者への理解を深め, 他者と協働しながら目標を達成する力（実践知）。これら３つの力（知）の修得を通じて、人間力の向上、生涯にわたって学び続ける力の涵養、そして明日の姿を見通す力の育成を目指します。



上の図に示すように、基盤教育は，フレッシュマンコア（FC）、グローバルコミュニケーション分野（GC）、ソーシャルサイエンス分野（SS）、ナチュラルサイエンス分野（NS）、そしてアートサイエンス分野（AS）の5つの領域から構成されています。各領域の概容については、ページをあらためて、ご紹介いたします。

基盤教育の教育目標

	ディプロマポリシー	カリキュラムポリシー
		宮城大学共通の教育基盤として、人間力を高めるとともに、広く深く学び続ける力を養成し、将来にわたって明日の姿を見通す力を身につけるための技法知・学問知・実践知を修得するための教育課程を編成する。その中核として、全ての学生が必ず身につけるべき力を養成するための科目群「フレッシュマンコア」を置く。
1 知識・技術	諸領域の学問分野における基本的知識を持ち、各学問分野に特有の考え方を理解し、その考え方を様々な場面で適用できる技術を持つ。	諸領域の学問分野における幅広い分野の知識と技術を教授するため、学問領域を社会・歴史・文化を学ぶ「ソーシャルサイエンス」、人間と自然科学を学ぶ「ナチュラルサイエンス」、芸術を学ぶ「アートサイエンス」に分類し、それぞれの領域における基本的知識・技術を教授するための科目群を構成する。また学びの全体を俯瞰するための科目を置く（看護学群を除く）。 学生が修得した知識・技術を、実践的に応用できる力に結びつける効果的な教育方法を採用する。
2 思考力 判断力	物事を多面的に考えながら、科学的根拠に基づく論理的な思考と判断ができる。	自らが修得した知識・技術を基盤に、科学的根拠に基づく論理的な思考力・判断力を養成するため、「フレッシュマンコア」の中に少人数演習およびフィールドワーク等を置き、実践的な課題に取り組む教育を行う。
3 表現	自分の意見を口頭表現や文章表現によって的確に伝えることができる。	自らの意見や調査分析結果を文章や口頭で表現し、それらを伝えるコミュニケーション力を養成するため、少人数演習科目において、表現技術とコミュニケーションに関する実践的な教育を行う。 グローバルなコミュニケーション力と表現力を養成するために、「グローバルコミュニケーション」科目群を設け、世界共通語としての英語をフレッシュマンコアとして位置づけるとともに、その発展科目を置く。また、中国語、韓国語、ベトナム語を外国語科目として置く。
4 主体性	自己を社会の中に位置づけ、学びを自分自身で意味づけながら自ら学び続けることができる。	自らの将来を見据え、主体的に学ぶ能力を養成するために、「フレッシュマンコア」の中に、大学での主体的な学びを理解するための科目、自らの将来像を考えるためのキャリアデザイン科目を設ける。また、演習科目においても学びの主体性を重視した教育を実施し、自らが学びつづけるための力を養成する。
5 協働性	他者との適切なコミュニケーションのあり方を理解し、他者と協力して学ぶ活動ができる。	他者との協働性とコミュニケーション力を養成するため、「フレッシュマンコア」の中で少人数演習やフィールドワーク等の協働的な活動を取り入れた教育を実施する。

1 フレッシュマンコア

（1）フレッシュマンコア（FC）とは

宮城大学が重視する基盤教育、その中軸となる全学共通の必修科目群を「フレッシュマンコア」といいます。
フレッシュマンコアは、技法知、学問知、実践知の修得に向けた基礎トレーニングの場です。そこではまず専門科目を主体的に学ぶための礎を築きます。また、少人数のグループで課題に取り組み、仲間とともに学びながら、多様な意見から集団で答えを導き出す能力を養っていきます。さらに、地域や社会の一員として自らの果たすべき役割についても考えを深めていきます。これら一連の営みを通じて、一人ひとりの生涯の学びの基盤を確かなものにしていきます。

〈 フレッシュマンコア 〉

「明日の姿を見通す力」を身につける宮城大学の基盤教育スタンダード

人間力＋学び続ける力

≫

明日の姿を見通す力

（2）フレッシュマンコアの基幹科目

フレッシュマンコアの中でも，以下の７科目（看護学群は４科目）を「フレッシュマンコア基幹科目」といいます。いうなれば，3つの力（知）のコアのコアに触れる機会となるでしょう。

①**スタートアップ・セミナー** ……▶ ２５人のクラス単位で、コミュニケーションやディスカッションのスキルを身につけるとともに、自分の考えをプレゼンテーションやライティングの形で表現する方法を学びます。

②**アカデミック・セミナー** ……▶ スタートアップ・セミナーでの学びを基にして、科学的に思考し説明する方法を学びます。他者と協働してアイディアを出し合いながら、自らの表現力を向上させる能力の育成を目指します。

③**社会の中で生きる** ……▶ 社会の一員として，幸福・正義・公正・人権などの観点から，社会がどのように構成されているのかを知り、自分が社会にどのように関わるべきかを，集団討議も交えて考えていきます。

④**地域フィールドワーク** ……▶ 地域を歩き，自らのミッションを問う、地域に貢献できる人材の持つべき素養として、地域（東北、宮城等）の自然・歴史・文化等を学びながら、地域の多様な人々や地域が抱える課題に目を向け、自らの「果たすべき役割」を考えていきます。

⑤**宮城大学の知の体系（事業構想学群・食産業学群のみ）**……▶ 大学での学びを概観し、宮城大学と３学群のミッション、学修内容等を理解することで、４年間の学修と卒業後の姿をイメージします。

⑥**大学での学び入門（事業構想学群・食産業学群のみ）**……▶ 大学での学び方を身につけることを目的に、学ぶことの意義を考え、また学ぶために必要な学修方法について学びます。

⑦**キャリアデザインⅠ（事業構想学群・食産業学群のみ）**……▶ 学類選択や卒業後の進路を見据えて、「自分は何者で、これからどのような道を進んでいきたいのか」を考えます。過去の自分に肯定的な意味付けをし、未来の自分をデザインする方法を学びます。

フレッシュマンコアでは P33 に記載されている基幹科目のほかにも，必修科目として次の科目を配置しています。

・English Reading Skills Ⅰ／English Reading Skills Ⅱ／English for Academic Purposes Ⅰ
English Self-Expression Ⅰ／English Self-Expression Ⅱ／English Self-Expression Ⅲ ……▶世界中の社会や技術発展について書かれたテキストやオンライン教材を使用し，読解の能力を強化する一方，スピーキングやライティングを通し，表現方法を学修します。また，英語の教材を通して，様々な視点や異文化理解を身に付けることを目指します。

・データサイエンス入門 ……▶身近な標本データに着目し，その種類の違いを理解し，適した処理法やグラフ・表による整理・表現法を，PC（パーソナルコンピュータ）を用いて学びます。またこれらを通じて、標本抽出や実験等の意義と必要性を理解し，標本から母集団の特徴を推測する基礎的な考え方を修得します。

・情報化社会と技術 ……▶コンピュータおよび情報ネットワークの基礎的な構造と特徴を理解し，適切に利活用する方法を身に付けます。特に，情報収集や情報分析などを行いながら，情報を活用しコミュニケーションを適切に図る技術を修得します。

2 基盤教育における４つの科目分野

基盤教育では「フレッシュマンコア」のほかに、以下の4つの科目分野を設けています。ここでは、各学類の専門科目をよりよく理解できるよう、3つの力（知）に磨きをかけます。

（1）グローバルコミュニケーション分野（GC）

English for Academic Purposes Ⅱ	Extensive Listening	Practical English
中国語 Ⅰ	中国語 Ⅱ	
韓国語 Ⅰ	韓国語 Ⅱ	
ベトナム語 Ⅰ	ベトナム語 Ⅱ	
Global Studies Ⅰ	Global Studies Ⅱ	
Intercultural Communication		

（2）ソーシャルサイエンス分野（SS）

日本の歴史と文化	世界の歴史と文化	東北の歴史と文化
現代社会と哲学	人と宗教	心理学
現代社会の諸相	憲法	社会と経済

（3）ナチュラルサイエンス分野（NS）

数理科学	生命科学	環境科学入門
地球と宇宙	数学概論	物理概論
化学概論	生物概論	基礎統計学

（4）アートサイエンス分野（AS）

音楽	美術	健康科学
スポーツ科学	スポーツ実技	体を動かす楽しみ
アートサイエンス概論（※）	総合芸術（※）	

また、上記（1）～（4）以外にも「全学自由ゼミ」（※）を開講します。
※「アートサイエンス概論」「総合芸術」「全学自由ゼミ」は看護学群では開講しない科目なので、看護学群の学生が履修を希望する場合は、他学群・他学類履修制度により履修してください。

3 留学生対象科目

留学生の皆さんは、下表の基盤教育科目が必修となります。
また、記載されている英語科目（*）の中から４年間で２単位分の授業を取る必要があります。

科目	看護学群	事業構想学群	食産業学群
宮城大学の知の体系	開講なし	○	○
大学での学び入門	開講なし	○	○
社会の中で生きる	○	○	○
キャリアデザインⅠ	開講なし	○	○
スタートアップ・セミナー	○	○	○
アカデミック・セミナー	○	○	○
地域フィールドワーク	○	○	○
情報化社会と技術	○	○	○
データサイエンス入門	○	○	○
＊ English Reading SkillsⅠ	６科目から２単位（２科目）以上選択	６科目から２単位（２科目）以上選択	６科目から２単位（２科目）以上選択
＊ English Self-ExpressionⅠ			
＊ English Reading SkillsⅡ			
＊ English Self-ExpressionⅡ			
＊ English for Academic PurposesⅠ			
＊ English Self-ExpressionⅢ			
化学概論	選択	選択	○
生物概論	選択	選択	○
基礎統計学	選択	○	○
日本語Ⅰ	○	○	○
日本語Ⅱ	○	○	○
日本語Ⅲ	○	○	○
日本事情Ⅰ	○	○	○
日本事情Ⅱ	○	○	○

4 教育課程の一覧

基盤教育を含む教育課程の一覧は、「Ⅵ学群」の章の科目配当表に記載しています。学群・学類毎に開講科目、必修・選択、分野毎の卒業要件単位が異なりますので、確認のうえ計画的に履修してください。

Ⅵ. 事業構想学群

事業構想学群では、社会の動きや仕組み、人間の感性や行動をグローバルな視点で理解し、地域の歴史や特性を踏まえて、新たな価値を創造し、事業を計画・運営することで、地域を活性していくことをめざし、事業に関する幅広い知識を学び、自らの専門領域を探究することで、論理的な思考法を身につけます。さらに、フィールドワークやデータ分析、制作活動などにより、地域や社会で主体的に活躍できる実践力を身につけていきます。

事業構想学群での学び

1年次 「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目を学ぶ

◆大学での学びに必要な基礎的なスキルを身に付ける。

1年次末 学類を選択・決定

「しごとづくり」で地域経済を活性化したい！	「まちづくり」で地域社会を豊かで元気にしたい！	「ものづくり」で新たな価値を創造したい！
事業プランニング学類	**地域創生学類**	**価値創造デザイン学類**
グローバル化・情報化する社会の中で、新たな事業を創出し、持続可能なものとするための知識や考え方を学びます。	地域課題を明確にする科学的な分析手法と、地域活性化のための都市・農村政策や協働まちづくりの手法を学ぶ。	人間の感性、地域の自然や文化に根ざして、新たな価値を生み出す情報デザイン・環境デザインについて学びます。

2年次 各学類で学類共通の専門基礎を学ぶ

前期末 コース選択

事業プランニング学類		地域創生学類		価値創造デザイン学類	
事業戦略コース	**事業管理コース**	**地域政策コース**	**地域科学コース**	**感性情報デザインコース**	**生活環境デザインコース**
新たな事業を創出し、接続可能なものとするための戦略的な手法を学ぶ	事業資源を有機的に結びつけ管理する理論と技術を学ぶ	行政機能，住民協働などまちづくりに関する理論と考え方を学ぶ	地域の現状分析，将来予測，施設設備などの理論と技術を学ぶ	人間感性と情報技術をつなぐメディア開発・ものづくりの理論と技術を学ぶ	地域資源に根ざしたものづくり・生活環境づくりの理論と技術を学ぶ

選択したコースの基幹科目ほか，他コースの基幹科目も選択が可能です。

3年次 より専門性の高い科目を講義と演習・実習を通して学ぶ

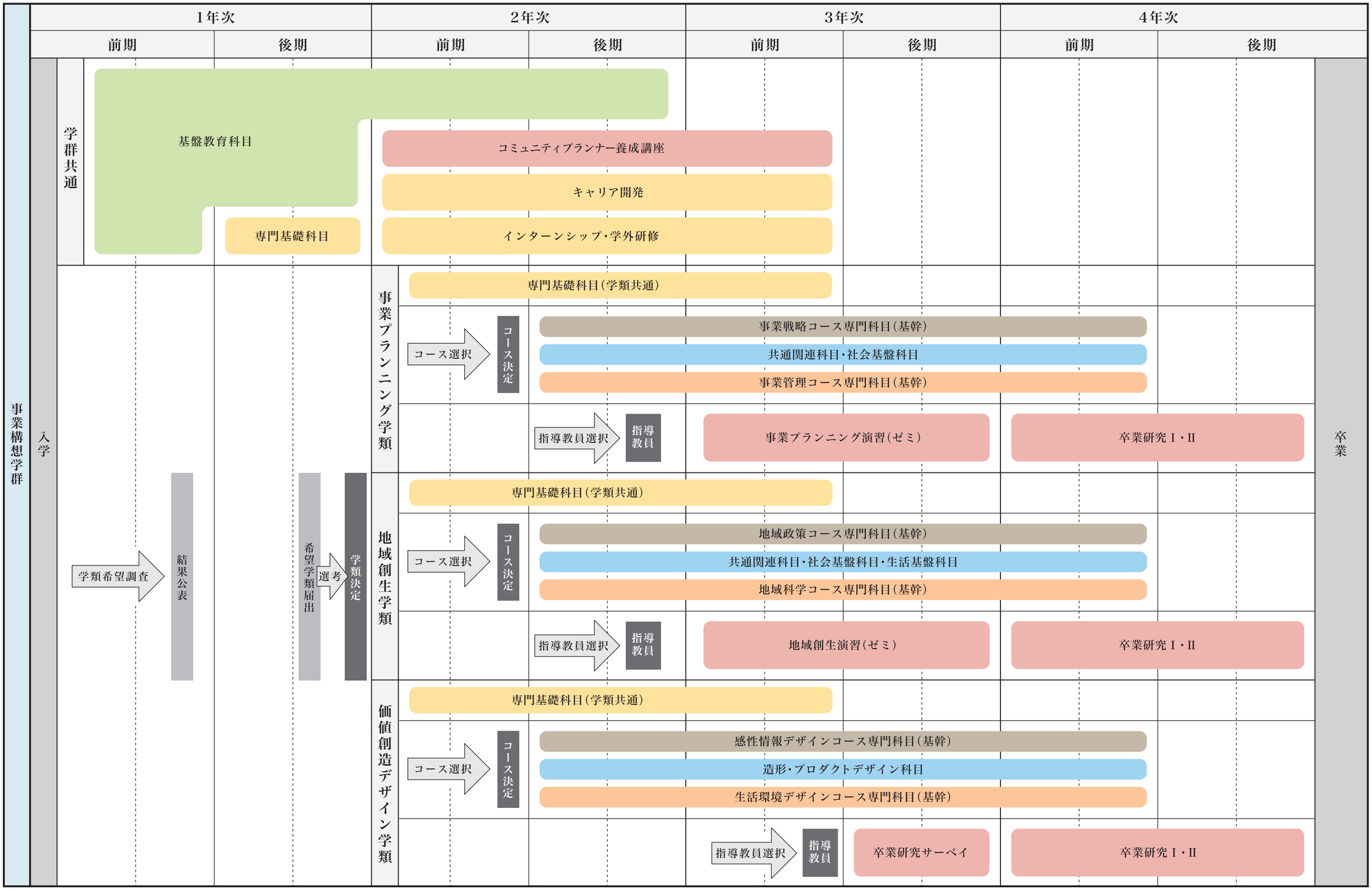
4年次 より専門性の高い科目を講義と演習・実習を通して学ぶとともに卒業研究において4年間の学びの集大成

この章では、事業構想学群における４年間の学びの流れや、それぞれの学類のカリキュラムの特徴、教育目標及び必要単位数について記載しています。これらの内容の詳細は、履修規程、宮城大学学位規程に記載されています。

とくに、各学類の「科目配当表」は、年次に合わせて修得の必要な単位数や、専門科目の修得の仕方について記載していますので、学びの計画を立てる際や、履修登録を行う際に役立ててください。

1 事業構想学群の４年間の学びの流れ

事業構想学群では、１年次に学類選択の希望を調査し、申請・選考の上、学類を決定します。２年次にコース選択を行い、さらに２年次後期（価値創造デザイン学類では３年次前期）に指導教員（研究室）選択を行います。卒業研究は、選択した指導教員の指導のもと取り組み、必要単位数の修得と卒業研究の合格をもって卒業となります。４年間の学びの見通しを立て、学修に取り組んでください。



2 事業プランニング学類について

（1）カリキュラムの特徴

事業プランニング学類では、1 年次に「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目と事業構想学群共通の専門基礎科目を学びます。1年次末までに自分の進む学類が決まり、2 年次からは、学類共通の基礎科目を学びます。2 年次後期からは、事業戦略コースか事業管理コースのいずれかを選択し、コース毎に専門科目（基幹）を学びます。また、自分の将来イメージに併せて、他コースの専門科目（基幹）や他学類の専門科目（関連）も履修することができます。4 年次には、卒業研究に取り組み4年間の学びの集大成となります。

（2）事業プランニング学類の教育目標

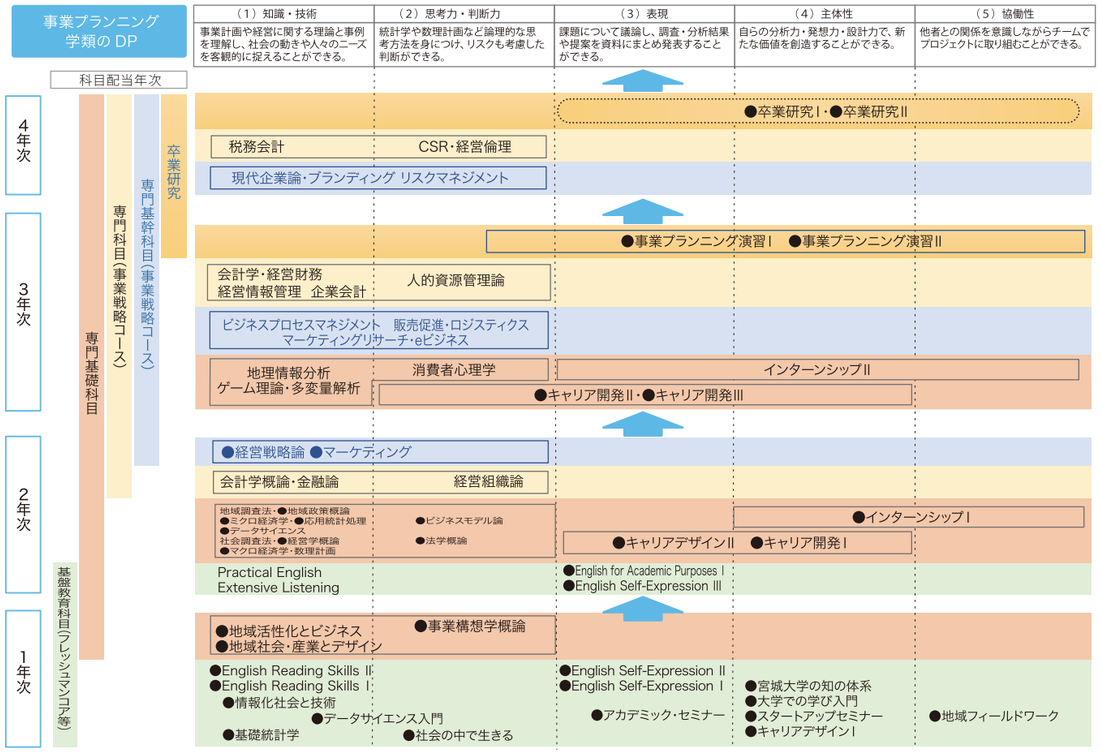
	ディプロマポリシー	カリキュラムポリシー
学類共通	事業構想学群事業プランニング学類では、以下の要件を満たした学生に学士（事業プランニング学）の学位を授与する。	現実の社会で顕在化している諸問題を分析し、新たなビジネスモデルの構築と運営できる能力（事業プランニング力）を育成することを目的にカリキュラムを構成する。 事業プランニングにおける専門力を高めるため、事業プランニングを、戦略的な事業モデル構築を対象とした「事業戦略」、企業・事業の運営管理を対象とした「事業管理」に分類し、それぞれを履修コースとして定める。
知識・技術	事業計画や経営に関する理論と事例を理解し、社会の動きや人々のニーズを客観的に捉えることができる。	事業構想学の学びに共通して基礎となる概念や理論、分析手法を教授するとともに、事業プランニング学の基礎となる経済学や数理分析に関する基本的な理論を教授するための専門基礎科目を置く。それを基盤に履修コースに応じた専門科目を展開する。 事業戦略コースの専門科目では、戦略的な事業構築に必要とされる経済学や経営学に関する理論および調査・立案手法を教授する。 事業管理コースの専門科目では、企業・事業の運営管理に必要とされる経営資源の管理に関する理論およびデータ分析手法を教授する。 自らの履修コース以外の専門科目を関連科目とし、専門に応じて必要な知識を補完する。
思考判断力	統計学や数理計画など論理的な思考方法を身につけ、リスクも考慮した判断ができる。	事業プランニングに必要とされる定量的かつ論理的な思考力とリスクを含めた判断力を育成するために、各コースの専門科目と協調した演習科目を置く。
表現	課題について議論し、調査・分析結果や提案を資料にまとめ発表することができる。	表現力を育成するために、演習や卒業研究に関する自らの発表機会を積極的に設けるとともに、講義科目においても学生の表現力育成を考慮した教育方法を採用する。
主体性	自ら現状を観察・分析し、課題を発見し、その原因を探求し、解決することができる。	学期毎に設けられる専門演習科目では、学生が主体的に創造する能力を育成するための課題設定を行う。 最終年次においては、学生がそれまでに身につけた知識・技術と思考力・判断力・表現力を総合的に生かして、自らが観察・分析により発見した事業プラニングの課題に取り組む「卒業研究」を設ける。 キャリア教育では、事業構想の諸分野を知り、その中で自分の将来像をデザインできるようにするためのプログラムを取り入れる。
協働性	他者との関係を意識しながらチームでプロジェクトに取り組むことができる。	学生の協働性を育むために、学生がチームでプロジェクトに取り組む演習を配置する。また講義科目においても学生の協働性を生かした教育方法を採用する。 実社会における協働能力を養うために、学外でのインターンシップを取り入れたキャリア教育を実施する。

（3）卒業に必要な単位数及び卒業要件

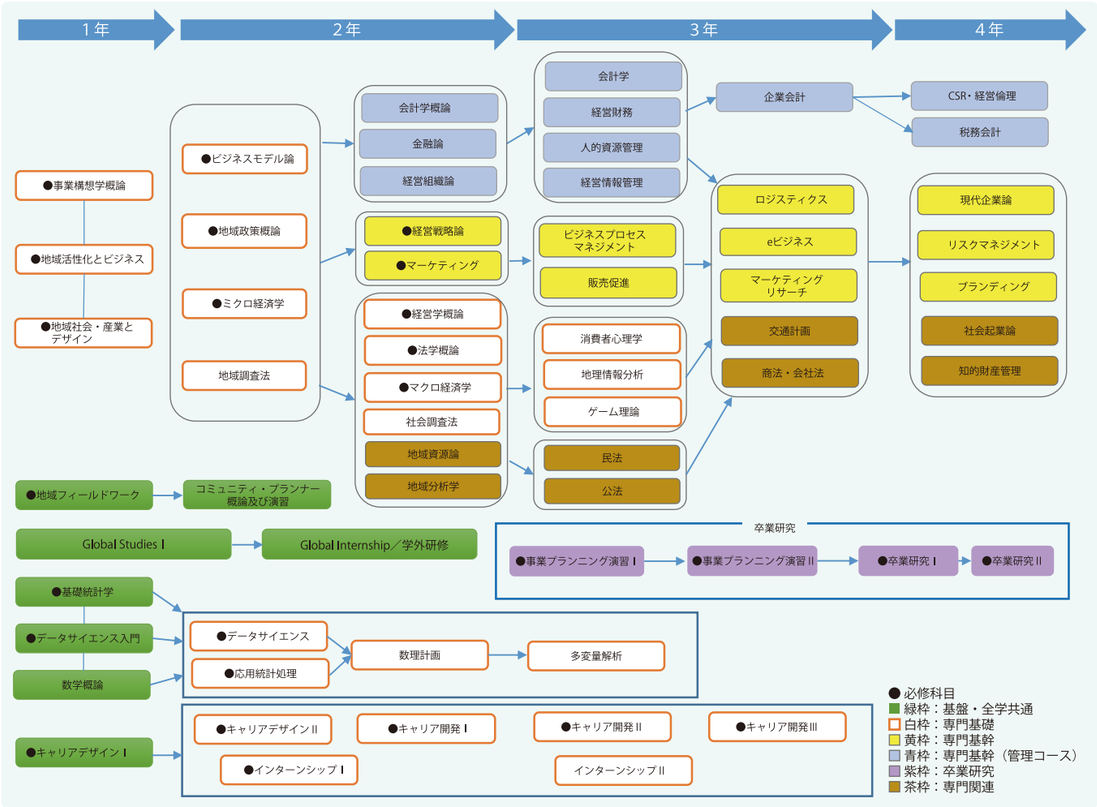
区分			配当単位数	必修単位数	選択必修	必要単位数	
基盤教育科目	フレッシュマンコア分野（FC）		21	21 （留学生：15）	0 （留学生：2）	21 （留学生：17）単位以上	45単位以上
	グローバルコミュニケーション分野（GC）		15	0	3以上	3単位以上	
	ソーシャルサイエンス分野（SS）		18	0	14以上	16単位以上	
	ナチュラルサイエンス分野（NS）		18	2			
	アートサイエンス分野（AS）		11	0	2以上	2単位以上	
	基盤ゼミ		1	0	0		
	留学生対象		留学生のみ8	留学生のみ7	留学生のみ7以上	留学生のみ7単位以上	
全学共通科目			6	0	0		
			6	0	0	（卒業要件外）	
専門基礎科目			42	26	8以上	34単位以上	
専門科目	基幹科目	事業戦略コース	20	4	12以上	16単位以上	36単位以上
		事業管理コース	20	6	10以上	16単位以上	
	関連科目	共通関連科目	38	0	0	10単位まで算入可	
		社会基盤科目	8	0	0		
卒業研究（3年次演習を含む）			10	10	0	10単位以上	
合計			234	卒業要件単位数		125単位以上	

（4）事業プランニング学類事業戦略コースのカリキュラムマップ

カリキュラムマップ

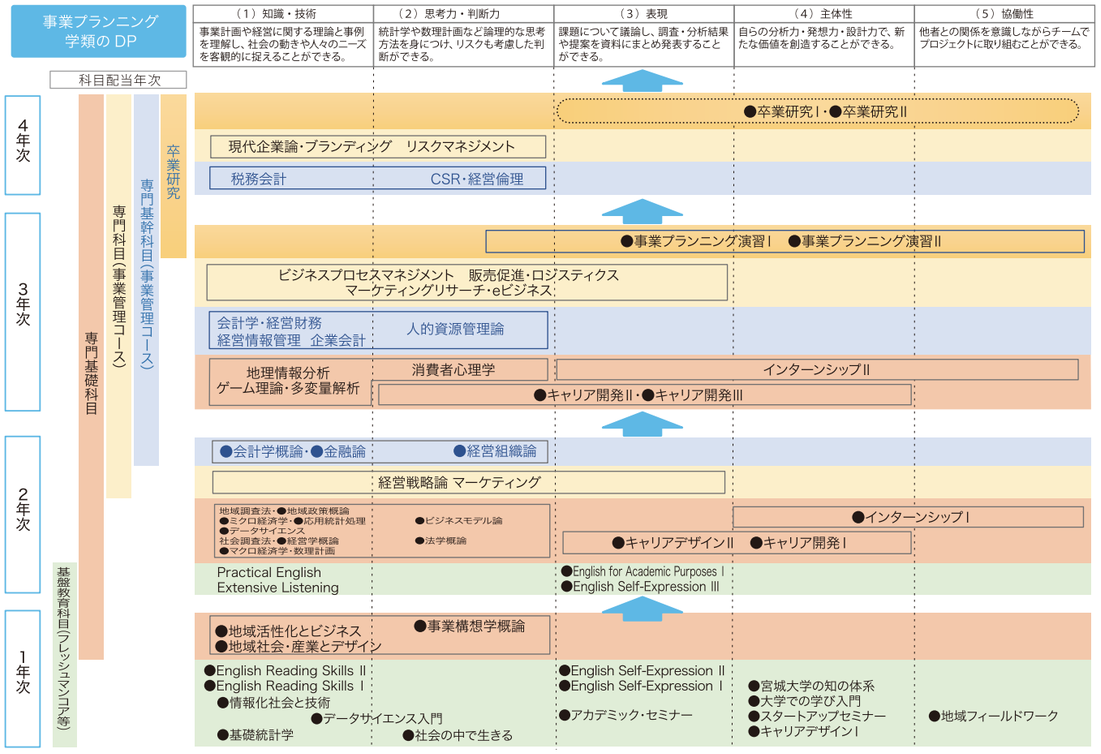


科目関連図

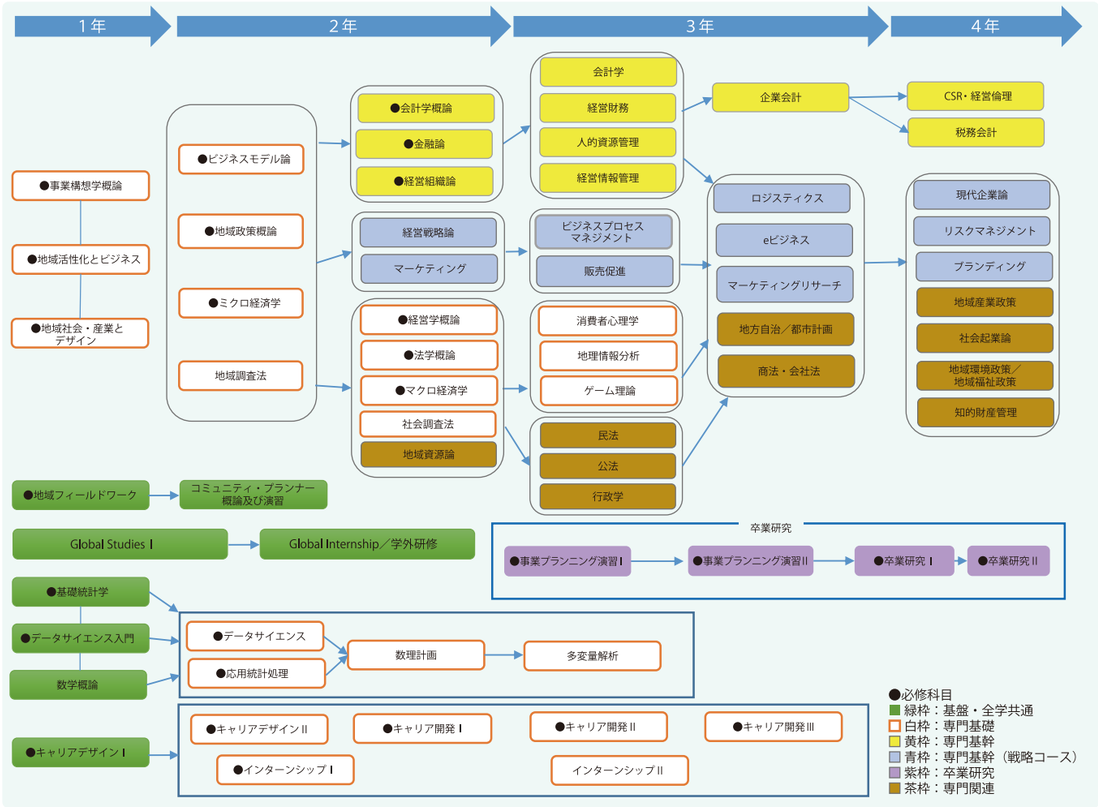


（5）事業プランニング学類事業管理コースのカリキュラムマップ

カリキュラムマップ



科目関連図



（6）事業プランニング学類の科目配当表

凡例 ◎必修科目

		1年前期 必	科目名	単位	1年後期 必	科目名	単位	2年前期 必	科目名	単位	2年後期 必	科目名	単位	3年前期 必	科目名	単位	3年後期 必	科目名	単位	4年前期 必	科目名	単位	4年後期 必	科目名	単位	必要単位数／配当単位数	
基盤教育科目（全学群共通）	FC	◎	スタートアップ・セミナー	2	◎	アカデミック・セミナー	2																			(必修)21単位 ※留学生は、English Self-Expression Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、English Reading Skills Ⅰ・Ⅱ、English for Academic Purposes Ⅰの中から2単位以上選択必修	必修を含めて45単位以上修得 /96単位
		◎	社会の中で生きる	1	◎	キャリアデザインⅠ	1																				
		◎	大学での学び入門	1																							
		◎	宮城大学の知の体系	2																							
		◎	地域フィールドワーク	2																							
		◎	データサイエンス入門	2	◎	情報化社会と技術	2																				
		◎	English Self-Expression Ⅰ	1	◎	English Self-Expression Ⅱ	1	◎	English Self-Expression Ⅲ	1																	
		◎	English Reading Skills Ⅰ	1	◎	English Reading Skills Ⅱ	1	◎	English for Academic Purposes Ⅰ	1																	
	GC		Intercultural Communication	2					Practical English	1		English for Academic Purposes Ⅱ	1												(選択) 3単位以上/15単位	
			Global Studies Ⅰ	2		Global Studies Ⅱ	2					Extensive Listening	1														
			中国語Ⅰ	1		中国語Ⅱ	1																				
			韓国語Ⅰ	1		韓国語Ⅱ	1																				
			ベトナム語Ⅰ(集中)	1		ベトナム語Ⅱ(集中)	1																				
	SS		日本の歴史と文化	2		世界の歴史と文化	2																		(必修) 2単位 (選択)14単位以上/34単位		
						東北の歴史と文化	2																				
			現代社会と哲学	2		現代社会の諸相	2																				
			人と宗教	2		憲法	2																				
			心理学	2		社会と経済	2																				
	NS		数理科学	2		環境科学入門	2																				
			生命科学	2		地球と宇宙	2																				
			数学概論	2	◎	基礎統計学	2																				
			物理概論	2																							
			化学概論	2																							
			生物概論	2																							
	AS		音楽	2		美術	2																		(選択)2単位以上/11単位		
			健康科学	2																							
			スポーツ科学	1																							
			スポーツ実技	1		体を動かす楽しみ	1																				
			アートサイエンス概論	1		総合芸術(集中)	1																				
	基ゼ		全学自由ゼミ(集中)	1																							
	留学	◎	日本語Ⅰ	1	◎	日本語Ⅱ	1	◎	日本語Ⅲ	1		日本語Ⅳ	1												※留学生のみ履修可能 (必修)7単位/8単位		
		◎	日本事情Ⅰ	2	◎	日本事情Ⅱ	2																				
全学共通科目			グローバルインターンシップ(集中)	2		学外研修(集中)	2		コミュニティ・プランナー概論及び演習	2		コミュニティ・プランナー実践論	2		コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習	2										産学連携講座Ⅰ, Ⅱ及びCP実践論・CPFW演習は卒業要件単位に含まない	
			産学連携講座Ⅰ(通年)	1																							
			産学連携講座Ⅱ(通年)	1																							

事業プランニング学類 卒業要件

基盤教育科目から45単位、専門基礎科目から34単位、専門科目から36単位(※)、卒業研究から10単位を履修し合計で125単位履修すること。
履修科目の登録の上限：49単位(年間)

ただし、1年次における基盤教育科目の履修登録単位数の上限は35単位
※専門科目については、基幹科目と関連科目を組み合わせて36単位を履修すること。
基幹科目は自コースの基幹科目から16単位の履修が必要となる。

関連科目について、共通関連科目は最大10単位までしか卒業要件に算入できないが、他コースの基幹科目及び自コースの基幹科目の必要単位数を超えるものについては関連科目としてみなすことができる。

全学共通科目のコミュニティ・プランナー概論及び演習、グローバルインターンシップ、学外研修は基盤教育科目に参入可能。

必修を含めて125単位以上修得/234単位

学類共通

	必	科目名	単位	1年後期 必	科目名	単位	2年前期 必	科目名	単位	2年後期 必	科目名	単位	3年前期 必	科目名	単位	3年後期 必	科目名	単位	4年前期 必	科目名	単位	4年後期 必	科目名	単位	必要単位数／配当単位数	
専門基礎科目	◎	事業構想学概論	2		地域調査法	2		社会調査法	2		地理情報分析	2												(必修)26単位 (選択) 8単位以上/16単位	必修を含めて34単位以上修得 /42単位
	◎	地域活性化とビジネス	1	◎	地域政策概論	2	◎	法学概論	2		消費者心理学	2														
	◎	地域社会・産業とデザイン	1	◎	ビジネスモデル論	2	◎	経営学概論	2		ゲーム理論	2														
				◎	ミクロ経済学	2	◎	マクロ経済学	2																	
				◎	応用統計処理	2																				
				◎	データサイエンス	2		数理計画	2		多変量解析	2														
				◎	キャリアデザインⅡ	1	◎	キャリア開発Ⅰ	1	◎	キャリア開発Ⅱ	1	◎	キャリア開発Ⅲ	1											
				◎	インターンシップⅠ	2					インターンシップⅡ	2														

事業戦略コース

専門科目履修方法

①自コース基幹科目16単位を履修する。
②関連科目を20単位履修する。

<関連科目の履修方法について>
①共通関連科目(最大10単位まで認定可能)
②社会基盤科目
③事業管理コース基幹科目
④事業戦略コース基幹科目で16単位を越えて履修した科目

		必	科目名	単位	1年後期 必	科目名	単位	2年前期 必	科目名	単位	2年後期 必	科目名	単位	3年前期 必	科目名	単位	3年後期 必	科目名	単位	4年前期 必	科目名	単位	4年後期 必	科目名	単位	必要単位数／配当単位数	
専門科目（基幹）	★事業戦略コース基幹科目																										
	◎	経営戦略論	2					ビジネスプロセスマネジメント	2					ロジスティクス	2		現代企業論	2						(必修) 4単位 (選択)12単位以上/16単位	必修を含めて36単位以上修得 /86単位
	◎	マーケティング	2					販売促進	2					マーケティングリサーチ	2		ブランディング	2								
														eビジネス	2		リスクマネジメント	2								
	★事業管理コース基幹科目																										
		会計学概論	2					会計学	2					企業会計	2		税務会計	2						卒業要件単位に算入可能 /20単位		
		金融論	2					経営財務	2								CSR・経営倫理	2								
		経営組織論	2					人的資源管理論	2																	
								経営情報管理	2																	
専門科目（関連）	★共通関連科目																										
		地域資源論	2					都市と文化	2					地域交流論	2		地域産業政策	2						10単位まで 卒業要件単位に算入可能 /38単位		
		地域社会学	2					行政学	2					都市計画	2		地域環境政策	2								
		国土・地域計画	2					社会的共通資本	2					地方自治	2		地域福祉政策	2								
		地域分析学	2					計量経済学	2					コミュニティ創造	2		行政評価	2								
														交通計画	2		社会起業論	2								
																	防災計画	2								
								★社会基盤科目																卒業要件単位に算入可能 / 8単位		
								民法	2					商法・会社法	2		知的財産管理	2								
								公法	2																	
卒業研究								◎	事業プランニング演習Ⅰ	2				◎	事業プランニング演習Ⅱ	2	◎	卒業研究Ⅰ	2	◎	卒業研究Ⅱ	4	(必修)10単位		

事業管理コース

専門科目履修方法

①自コース基幹科目 16 単位を履修する。
②関連科目を 20 単位履修する。

<関連科目の履修方法について>
①共通関連科目(最大10単位まで認定可能)
②社会基盤科目
③事業戦略コース基幹科目
④事業管理コース基幹科目で16単位を越えて履修した科目

		必	科目名	単位	1年後期 必	科目名	単位	2年前期 必	科目名	単位	2年後期 必	科目名	単位	3年前期 必	科目名	単位	3年後期 必	科目名	単位	4年前期 必	科目名	単位	4年後期 必	科目名	単位	必要単位数／配当単位数	
専門科目（基幹）	★事業管理コース基幹科目																										
	◎	会計学概論	2					会計学	2					企業会計	2		税務会計	2						(必修) 6単位 (選択)10単位以上/14単位	必修を含めて36単位以上修得 /86単位
	◎	金融論	2					経営財務	2								CSR・経営倫理	2								
	◎	経営組織論	2					人的資源管理論	2																	
								経営情報管理	2																	
	★事業戦略コース基幹科目																										
		経営戦略論	2					ビジネスプロセスマネジメント	2					ロジスティクス	2		現代企業論	2						卒業要件単位に算入可能 /20単位		
		マーケティング	2					販売促進	2					マーケティングリサーチ	2		ブランディング	2								
														eビジネス	2		リスクマネジメント	2								
専門科目（関連）	★共通関連科目																										
		地域資源論	2					都市と文化	2					地域交流論	2		地域産業政策	2						10単位まで 卒業要件単位に算入可能 /38単位		
		地域社会学	2					行政学	2					都市計画	2		地域環境政策	2								
		国土・地域計画	2					社会的共通資本	2					地方自治	2		地域福祉政策	2								
		地域分析学	2					計量経済学	2					コミュニティ創造	2		行政評価	2								
														交通計画	2		社会起業論	2								
																	防災計画	2								
								★社会基盤科目																卒業要件単位に算入可能 / 8単位		
								民法	2					商法・会社法	2		知的財産管理	2								
								公法	2																	
卒業研究								◎	事業プランニング演習Ⅰ	2				◎	事業プランニング演習Ⅱ	2	◎	卒業研究Ⅰ	2	◎	卒業研究Ⅱ	4	(必修)10単位		

(7) 履修モデル

事業戦略・事業管理の各コースにおいて, 卒業要件単位を最低限で満たすための標準的な履修モデル（履修例）を示すものである。実際の科目履修にあたっては, 自らの望む進路を考慮して, 下に示す各系の履修モデルを参考に履修を進めることが望まれる。なお, 各コースにおける展開モデルは以下のとおりである。

①事業戦略コース	
事業開発・起業系	実業界の様々なビジネスモデルを評価分析・再構築するためのマーケティングスキルから、新たな付加価値を企画開発するプランナー・アナリスト・起業家となることを目指す。
②事業管理コース	
会計・法務資格系	資格試験に関連する知識・技術を学び、公認会計士・税理士・社会保険労務士や国税専門官・財務専門官・各種公務員等、会計・法務などの専門家となることを目指す。
マネジメント系	幅広い視野から社会経済環境の変化を把握し、それを戦略構築や組織のマネジメントに活かすことを通じて、ビジネスのリーダーとなることを目指す。

凡例：●…必修, ○…選択科目, ◎…選択科目（選択が推奨されるもの）, ★…資格取得に関連する科目

科目区分	授業科目	配当年次	単位数	授業形態	基本モデル 事業戦略コース	基本モデル 事業管理コース	履修モデル 事業戦略コース 事業開発・起業系	履修モデル 事業管理コース 会計・法務資格系	履修モデル 事業管理コース マネジメント系	卒業要件 区分ごとの要件1	卒業要件 区分ごとの要件2	卒業要件 備考
基盤教育科目 フレッシュマンコア	宮城大学の知の体系	1前	2	講義	●	●	●	●	●			
	大学での学び入門	1前	1	講義	●	●	●	●	●			
	社会の中で生きる	1前	1	講義	●	●	●	●	●			
	キャリアデザインⅠ	1後	1	講義	●	●	●	●	●			
	スタートアップ・セミナー	1前	2	講義	●	●	●	●	●			
	アカデミック・セミナー	1後	2	講義	●	●	●	●	●			
	地域フィールドワーク	1前	2	講義	●	●	●	●	●			
	情報化社会と技術	1後	2	講義	●	●	●	●	●			
	データサイエンス入門	1前	2	講義	●	●	●	●	●			
	English Reading SkillsⅠ	1前	1	演習	●	●	●	●	●			
	English Self-ExpressionⅠ	1前	1	演習	●	●	●	●	●			
	English Reading SkillsⅡ	1後	1	演習	●	●	●	●	●			
	English Self-ExpressionⅡ	1後	1	演習	●	●	●	●	●			
	English for Academic PurposesⅠ	2前	1	演習	●	●	●	●	●			
	English Self-ExpressionⅢ	2前	1	演習	●	●	●	●	●			
グローバルコミュニケーション	English for Academic PurposesⅡ	2後	1	演習	○	○	◎	◎	◎			
	Extensive Listening	2後	1	演習	○	○	◎	◎	◎			
	Practical English	2前	1	演習	○	○	○	○	○			
	中国語Ⅰ	1・2前	1	演習								
	中国語Ⅱ	1・2後	1	演習								
	韓国語Ⅰ	1・2前	1	演習								
	韓国語Ⅱ	1・2後	1	演習								
	ベトナム語Ⅰ	1・2集中	1	演習								
	ベトナム語Ⅱ	1・2集中	1	演習								
	Global StudiesⅠ	1・2前	2	講義			○					
	Global StudiesⅡ	1・2後	2	講義								
	Intercultural Communication	1・2前	2	講義								
ソーシャルサイエンス	日本の歴史と文化	1・2前	2	講義	○	○	◎	○	◎			
	世界の歴史と文化	1・2後	2	講義	○	○	◎		◎			
	東北の歴史と文化	1・2後	2	講義	○	○	○		○			
	現代社会と哲学	1・2前	2	講義				○				
	人と宗教	1・2前	2	講義				○				
	心理学	1・2前	2	講義	○	○	○	○	◎			
	現代社会の諸相	1・2後	2	講義	○	○	◎	◎	○			
	憲法	1・2後	2	講義	○	○	○	◎	○			
	社会と経済	1・2後	2	講義	○	○	○	◎	○			
ナチュラルサイエンス	数理科学	1・2前	2	講義								
	生命科学	1・2前	2	講義								
	環境科学入門	1・2後	2	講義								
	地球と宇宙	1・2後	2	講義								
	数学概論	1・2前	2	講義	○	○	○	○				
	物理概論	1・2前	2	講義								
	化学概論	1・2前	2	講義								
	生物概論	1・2前	2	講義								
	基礎統計学	1後	2	講義	●	●	●	●	●			
アートサイエンス	音楽	1・2前	2	講義								
	美術	1・2後	2	講義								
	健康科学	1・2前	2	講義	○	○	○	○	○			
	アートサイエンス概論	1前	1	講義								
	総合芸術	1集中	1	実験・実習								
	スポーツ科学	1・2前	1	講義								
	スポーツ実技	1・2前	1	実験・実習								
	体を動かす楽しみ	1・2後	1	実験・実習	○	○	○	○	○			
基盤ゼミ	全学自由ゼミ	1・2集中	1	演習					○			
留学生対象	日本語Ⅰ	1前	1	演習								
	日本語Ⅱ	1後	1	演習								
	日本語Ⅲ	2前	1	演習								
	日本語Ⅳ	2後	1	演習								
	日本事情Ⅰ	1前	2	講義								
	日本事情Ⅱ	1後	2	講義								
全学共通科目	コミュニティ・プランナー概論及び演習	2前	2	講義								
	コミュニティ・プランナー実践論	2後	2	講義								
	コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習	3前	2	演習								
	グローバルインターンシップ	1・2集中	2	演習				○	○			
	学外研修	1・2集中	2	演習				○	○			
	産学連携講座Ⅰ	1・2通	1	講義								
	産学連携講座Ⅱ	1・2通	1	講義								

卒業要件 区分ごとの要件1	卒業要件 区分ごとの要件2	卒業要件 備考
	21単位必修 ※ただし留学生については備考のとおりとする	留学生は15単位必修 留学生は2単位以上選択必修
	3単位以上修得	
必修科目を含めて45単位以上修得	必修を含めて16単位以上修得	
	2単位以上修得	
	留学生のみ履修可能	留学生は必修 留学生の選択科目 留学生は必修
		卒業要件単位に含まない
		卒業要件単位に含まない

凡例：●…必修, ○…選択科目, ◎…選択科目（選択が推奨されるもの）, ★…資格取得に関連する科目

科目区分		授業科目	配当年次	単位数	授業形態	基本モデル 事業戦略コース	基本モデル 事業管理コース	履修モデル 事業戦略コース 事業開発・起業系	履修モデル 事業管理コース 会計・法務資格系	履修モデル 事業管理コース マネジメント系	卒業要件 区分ごとの要件1	卒業要件 区分ごとの要件2	卒業要件 備考
専門科目	専門基礎科目	事業構想学概論	1後	2	講義	●	●	●	●	●	必修科目を含めて34単位以上修得		
		地域活性化とビジネス	1後	1	講義	●	●	●	●	●			
		地域社会・産業とデザイン	1後	1	講義	●	●	●	●	●			
		地域政策概論	2前	2	講義	●	●	●	●	●			
		ビジネスモデル論	2前	2	講義	●	●	●	●	●			
		ミクロ経済学	2前	2	講義	●	●	●	●	●			
		地域調査法	2前	2	講義			○					
		データサイエンス	2前	2	講義	●	●	●	●	●			
		応用統計処理	2前	2	講義	●	●	●	●	●			
		キャリアデザインⅡ	2前	1	講義	●	●	●	●	●			
		インターンシップⅠ	2前	2	講義	●	●	●	●	●			
		法学概論	2後	2	講義	●	●	●	●	●			
		経営学概論	2後	2	講義	●	●	●	●	●			
		マクロ経済学	2後	2	講義	●	●	●	●	●			
		社会調査法	2後	2	講義		○			○			
		数理計画	2後	2	講義	○			○				
		キャリア開発Ⅰ	2後	1	講義	●	●	●	●	●			
		消費者心理学	3前	2	講義	○	○	◎		◎			
		ゲーム理論	3前	2	講義		○	◎		◎			
		地理情報分析	3前	2	講義								
		多変量解析	3前	2	講義	○		○		○			
		キャリア開発Ⅱ	3前	1	講義	●	●	●	●	●			
		インターンシップⅡ	3前	2	講義	○	○	○	○	○			
		キャリア開発Ⅲ	3後	1	講義	●	●	●	●	●			
	基幹科目 事業戦略コース基幹科目	経営戦略論	2後	2	講義	●	○	●	◎	○		事業戦略コースは必修	事業戦略コースは必修
		マーケティング	2後	2	講義	●	○	●	○	○			
		ビジネスプロセスマネジメント	3前	2	講義	○		◎	○	○			
		販売促進	3前	2	講義	○		◎				事業戦略コースは必修を含めて16単位以上修得	
		ロジスティクス	3後	2	講義	○		◎					
		マーケティングリサーチ	3後	2	講義	○		◎					
		eビジネス	3後	2	講義	○		◎					
		現代企業論	4前	2	講義	○	○	◎	◎	◎			
		ブランディング	4前	2	講義	○		◎					
		リスクマネジメント	4前	2	講義	○	○	◎	◎	◎			
		会計学概論	2後	2	講義	○	●	○	●	●			事業管理コースは必修
		金融論	2後	2	講義	○	●	○	●	●			
		経営組織論	2後	2	講義	○	●	○	●	●			
		会計学	3前	2	講義		○		◎	◎		事業管理コースは必修を含めて16単位以上修得	
		経営財務	3前	2	講義	○	○		◎	◎			
		人的資源管理論	3前	2	講義		○		◎	◎			
		経営情報管理	3前	2	講義		○		◎	○			
		企業会計	3後	2	講義		○		◎	◎			
		税務会計	4前	2	講義		○		◎	◎			
		ＣＳＲ・経営倫理	4前	2	講義		○		◎	○			
	関連科目 共通関連科目	地域資源論	2後	2	講義	○		○		○	必修科目を含めて36単位以上修得	10単位まで卒業要件単位に算入可能	
		地域社会学	2後	2	講義								
		国土・地域計画	2後	2	講義								
		地域分析学	2後	2	講義			○					
		都市と文化	3前	2	講義								
		行政学	3前	2	講義		○		◎				
		社会的共通資本	3前	2	講義								
		計量経済学	3前	2	講義								
		地域交流論	3後	2	講義								
		都市計画	3後	2	講義					○			
		地方自治	3後	2	講義								
		コミュニティ創造	3後	2	講義								
		交通計画	3後	2	講義			○					
		地域産業政策	4前	2	講義					○			
		地域環境政策	4前	2	講義								
		地域福祉政策	4前	2	講義					○			
		行政評価	4前	2	講義					○			
		社会起業論	4前	2	講義	○		○		○			
		防災計画	4前	2	講義								
	社会基盤科目	民法	3前	2	講義	○	○	◎	◎	◎			
		公法	3前	2	講義		○	○	◎	○			
		商法・会社法	3後	2	講義	○	○	◎	◎	◎			
		知的財産管理	4前	2	講義			○	◎	○			
卒業研究		事業プランニング演習Ⅰ	3前	2	演習	●	●	●	●	●	10単位必修		
		事業プランニング演習Ⅱ	3後	2	演習	●	●	●	●	●			
		卒業研究Ⅰ	4前	2	演習	●	●	●	●	●			
		卒業研究Ⅱ	4後	4	演習	●	●	●	●	●			
基盤教育科目、全学共通科目、専門基礎科目、専門科目、卒業研究の合計						125	125	139	133	140			卒業要件単位数125単位以上修得

3 地域創生学類について

（1）カリキュラムの特徴

地域創生学類では、1年次に「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目と事業構想学群共通の専門基礎科目を学びます。1年次末までに自分の進む学類が決まり、2年次からは、学類共通の基礎科目を学びます。2年次後期からは、地域政策コースか地域科学コースのいずれかを選択し、コース毎に専門科目（基幹）を学びます。また、自分の将来イメージに併せて、他コースの専門科目（基幹）や他学類の専門科目（関連）も履修することができます。4年次には、卒業研究に取り組み4年間の学びの集大成となります。

（2）地域創生学類の教育目標

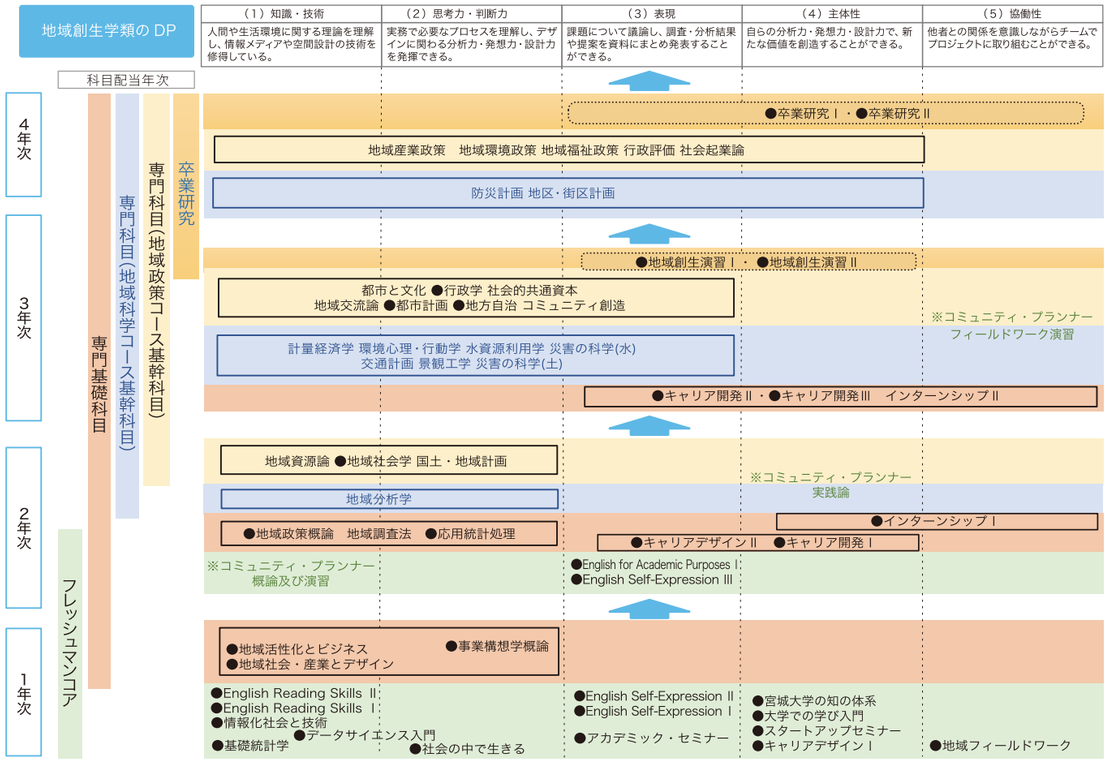
	ディプロマポリシー	カリキュラムポリシー
学類共通	事業構想学群地域創生学類では、以下の要件を満たした学生に学士（地域創生学）の学位を授与する。	現実の社会で顕在化している諸問題を分析し、地域資源も活用することで新たな地域を創生する能力（地域創生力）を育成することを目的にカリキュラムを構成する。 地域創生における専門力を高めるため、地域行政・政策・まちづくりを対象とした「地域政策」、地域における社会・経済現象等の科学的分析を対象とした「地域科学」に分類し、それぞれを履修コースとして定める。
知識・技術	地域の分析や計画に関する理論と事例を理解し、社会の動きや人々のニーズを客観的に捉えることができる。	事業構想学の学びに共通して基礎となる概念や理論、分析手法を教授するとともに、地域創生学の基礎となる経済学や数理分析に関する基本的な理論を教授するための専門基礎科目を置く。それを基盤に履修コースに応じた専門科目を展開する。 地域政策コースの専門科目では、地域課題を見出し、その課題解決に求められる理論や方法を教授する。 地域科学コースの専門科目では、地域・社会構造に関する理論や定量分析手法を教授する。 自らの履修コース以外の専門科目を関連科目とし、専門に応じて必要な知識を補完する。
思考力判断力	地域の歴史や世界の動きを踏まえ、定量的な思考も加えて、論理的な判断ができる。	地域創生に必要とされる地域・社会への洞察力と客観的な思考力および論理的な判断力を育成するために、各コースの専門科目と協調した演習科目を置く。
表現	課題について議論し、調査・分析結果や提案を資料にまとめ発表することができる。	表現力を育成するために、演習や卒業研究に関する自らの発表機会を積極的に設けるとともに、講義科目においても学生の表現力育成を考慮した教育方法を採用する。
主体性	自ら現状を観察・分析し、課題を発見し、その原因を探求し、解決することができる。	学期毎に設けられる専門演習科目では、学生が主体的に創造する能力を育成するための課題設定を行う。最終年次においては、学生がそれまでに身につけた知識・技術と思考力・判断力・表現力を総合的に生かして、自らが観察・分析により発見した地域創生の課題に取り組む「卒業研究」を設ける。キャリア教育では、事業構想の諸分野を知り、その中で自分の将来像をデザインできるようにするためのプログラムを取り入れる。
協働性	他者との関係を意識しながらチームでプロジェクトに取り組むことができる。	学生の協働性を育むために、学生がチームでプロジェクトに取り組む演習を配置する。また講義科目においても学生の協働性を生かした教育方法を採用する。実社会における協働能力を養うために、学外でのインターンシップを取り入れたキャリア教育を実施する。

（3）卒業に必要な単位数及び卒業要件

区分			配当単位数	必修単位数	選択必修	必要単位数	
基盤教育科目	フレッシュマンコア（FC）		21	21（留学生：15）	0（留学生：2）	21（留学生：17）単位以上	45単位以上
	グローバルコミュニケーション分野（GC）		15	0	3以上	3単位以上	
	ソーシャルサイエンス分野（SS）		18	0	14以上	16単位以上	
	ナチュラルサイエンス分野（NS）		18	2			
	アートサイエンス分野（AS）		11	0		2単位以上	
	基盤ゼミ		1	0	2以上		
	留学生対象		留学生のみ8	留学生のみ7	0	留学生のみ7単位以上	
全学共通科目			6	0	留学生のみ7以上		
			2	0	0	（卒業要件外）	
			4	0	0	専門の関連科目に算入可	
専門基礎科目			42	26	8以上	34単位以上	
専門科目	基幹科目	地域政策コース	30	10	10以上	20単位以上	36単位以上
		地域科学コース	22	6	10以上	16単位以上	
	関連科目	共通関連科目	40	0	0	10単位まで算入可	
		社会基盤科目	10	0	0		
		生活基盤科目	37	0	0		
卒業研究（3年次演習を含む）			10	10	0	10単位以上	
合計			287	卒業要件単位数		125単位以上	

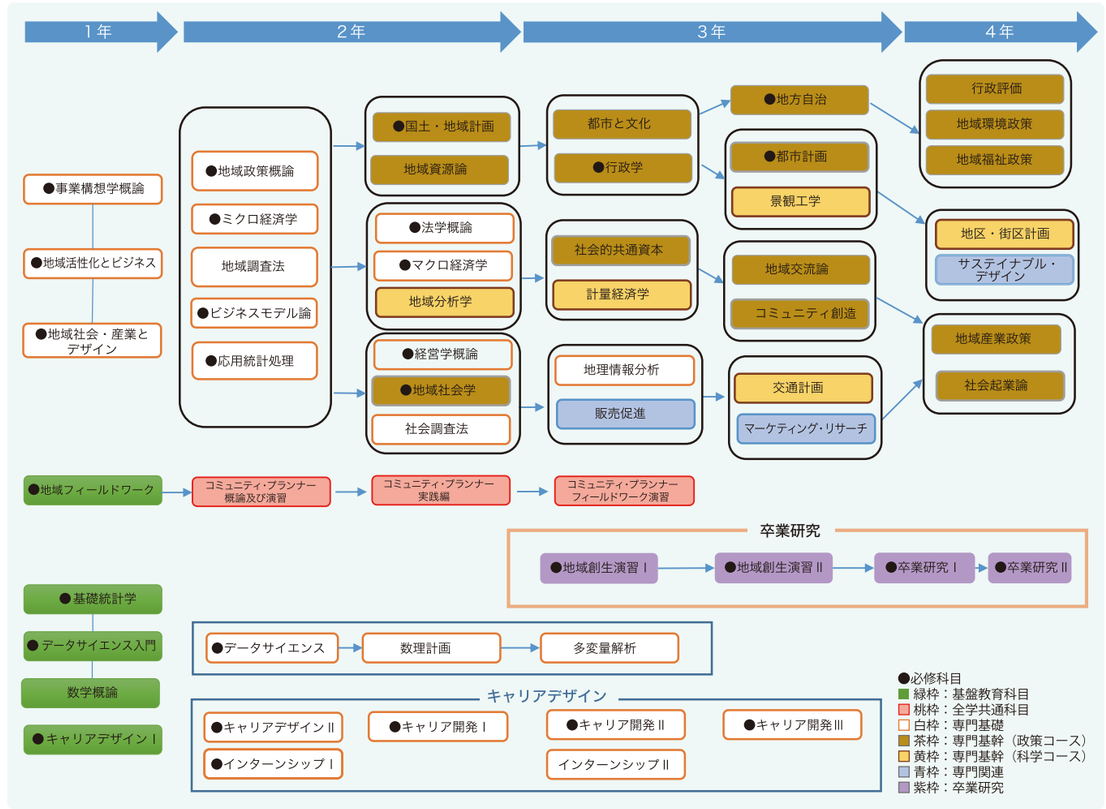
（4）地域創生学類 地域政策コースのカリキュラムマップ

カリキュラムマップ



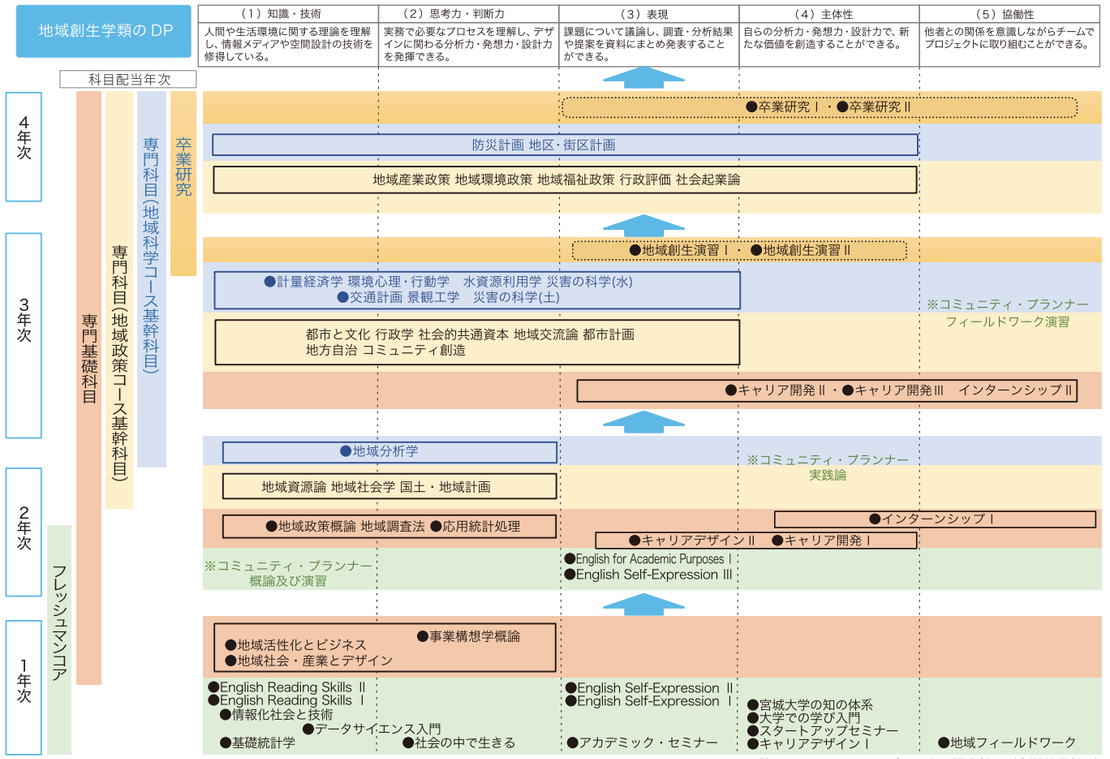
※科目はコミュニティ・プランナー関連科目（全学共通科目）

科目関連図



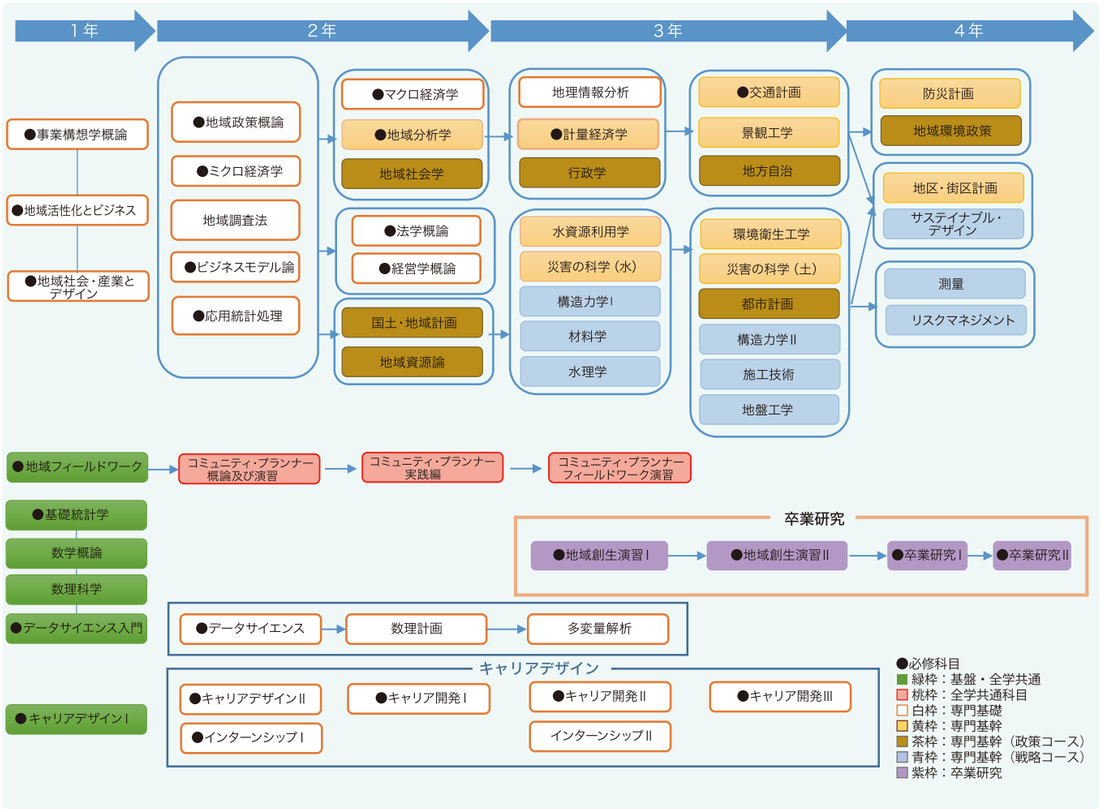
（5）地域創生学類 地域科学コースのカリキュラムマップ

カリキュラムマップ



※科目はコミュニティ・プランナー関連科目（全学共通科目）

科目関連図



(6) 地域創生学類の科目配当表

凡例 ◎ 必修科目

		必	1年前期 科目名	単位	必	1年後期 科目名	単位	必	2年前期 科目名	単位	必	2年後期 科目名	単位	必	3年前期 科目名	単位	必	3年後期 科目名	単位	必	4年前期 科目名	単位	必	4年後期 科目名	単位	必要単位数／配当単位数	
基盤教育科目（全学群共通）	FC	◎	スタートアップ・セミナー	2	◎	アカデミック・セミナー	2																			(必修)21単位	必修を含めて45単位以上修得 /96単位
		◎	社会の中で生きる	1	◎	キャリアデザインⅠ	1																			※留学生は、English Self-Expression Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、English Reading Skills Ⅰ・Ⅱ、English for Academic Purposes Ⅰ の中から2単位以上選択必修	
		◎	大学での学び入門	1																							
		◎	宮城大学の知の体系	2																							
		◎	地域フィールドワーク	2																							
		◎	データサイエンス入門	2	◎	情報化社会と技術	2																				
		◎	English Self-Expression Ⅰ	1	◎	English Self-Expression Ⅱ	1	◎	English Self-Expression Ⅲ	1																	
		◎	English Reading Skills Ⅰ	1	◎	English Reading Skills Ⅱ	1	◎	English for Academic Purposes Ⅰ	1																	
	GC		Intercultural Communication	2					Practical English	1		English for Academic Purposes Ⅱ	1													(選択) 3単位以上/15単位	
			Global Studies Ⅰ	2		Global Studies Ⅱ	2					Extensive Listening	1														
			中国語Ⅰ	1		中国語Ⅱ	1																				
			韓国語Ⅰ	1		韓国語Ⅱ	1																				
			ベトナム語Ⅰ（集中）	1		ベトナム語Ⅱ（集中）	1																				
	SS		日本の歴史と文化	2		世界の歴史と文化	2																			(必修) 2単位 (選択)14単位以上/34単位	
						東北の歴史と文化	2																				
			現代社会と哲学	2		現代社会の諸相	2																				
			人と宗教	2		憲法	2																				
			心理学	2		社会と経済	2																				
	NS		数理科学	2		環境科学入門	2																				
			生命科学	2		地球と宇宙	2																				
			数学概論	2	◎	基礎統計学	2																				
			物理概論	2																							
			化学概論	2																							
			生物概論	2																							
	AS		音楽	2		美術	2																			(選択) 2単位以上/11単位	
			健康科学	2																							
			スポーツ科学	1																							
			スポーツ実技	1		体を動かす楽しみ	1																				
			アートサイエンス概論	1		総合芸術（集中）	1																				
	基ゼ		全学自由ゼミ（集中）	1																							
	留学	◎	日本語Ⅰ	1	◎	日本語Ⅱ	1	◎	日本語Ⅲ	1		日本語Ⅳ	1													※留学生のみ履修可能 (必修) 7単位/8単位	
		◎	日本事情Ⅰ	2	◎	日本事情Ⅱ	2																				
全学共通科目			グローバルインターンシップ（集中）	2		学外研修（集中）	2		コミュニティ・プランナー概論及び演習	2		コミュニティ・プランナー実践論	2		コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習	2										産学連携講座Ⅰ, Ⅱは卒業要件単位に含まない。CP実践論・CPFW演習は専門の関連科目に算入可能。	
			産学連携講座Ⅰ（通年）	1																							
			産学連携講座Ⅱ（通年）	1																							

地域創生学類卒業要件

基盤教育科目から45単位、専門基礎科目から34単位、専門科目から36単位（※）、卒業研究から10単位を履修し合計で125単位履修すること。

履修科目の登録の上限：49単位（年間）
ただし、1年次における基盤教育科目の履修登録単位数の上限は35単位

※専門科目については、基幹科目と関連科目を組み合わせて36単位を履修すること。
基幹科目は自コースの基幹科目について、地域政策コースは20単位、地域科学コースは16単位の履修が必要となる。

関連科目について、共通関連科目は最大10単位までしか卒業要件に算入できないが、全学共通科目のコミュニティ・プランナー実践論、コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習、加えて他コースの基幹科目及び自コースの基幹科目の必要単位数を超えるものについては関連科目としてみなすことができる。全学共通科目のコミュニティ・プランナー概論及び演習、グローバルインターンシップ、学外研修は基盤教育科目に参入可能。

学類共通

	必	科目名	単位	必	科目名	単位	必	科目名	単位	必	科目名	単位	必	科目名	単位	必	科目名	単位	必	科目名	単位	必要単位数／配当単位数	
専門基礎科目		★専門基礎科目																					
	◎	事業構想学概論	2	◎	地域調査法	2		社会調査法	2		地理情報分析	2									(必修)26単位 (選択) 8単位以上/16単位	必修を含めて34単位以上修得 /42単位
	◎	地域活性化とビジネス	1	◎	地域政策概論	2	◎	法学概論	2		消費者心理学	2										
	◎	地域社会・産業とデザイン	1	◎	ビジネスモデル論	2	◎	経営学概論	2		ゲーム理論	2										
				◎	ミクロ経済学	2	◎	マクロ経済学	2													
				◎	応用統計処理	2																
				◎	データサイエンス	2		数理計画	2		多変量解析	2										
				◎	キャリアデザインⅡ	1	◎	キャリア開発Ⅰ	1	◎	キャリア開発Ⅱ	1	◎	キャリア開発Ⅲ	1						
				◎	インターンシップⅠ	2					インターンシップⅡ	2										

地域政策コース

専門科目履修方法

基幹科目20単位と、関連科目を16単位履修する。

＜関連科目の履修方法について＞
①共通関連科目（最大10単位まで認定可能）
②社会基盤科目
③生活基盤科目
④全学共通科目のコミュニティ・プランナー実践論及びコミュニティ・プランナーフィールドワーク演習
⑤地域科学コース基幹科目
⑥地域政策コース基幹科目で20単位を超えて履修した科目

	必	科目名	単位	必	科目名	単位	必	科目名	単位	必	科目名	単位	必	科目名	単位	必	科目名	単位	必	科目名	単位	必要単位数／配当単位数	
専門科目（基幹）		★地域政策コース基幹科目																					
		地域資源論	2		都市と文化	2					地域交流論	2		地域産業政策	2						(必修)10単位 (選択)10単位以上/20単位	必修を含めて36単位以上修得 /139単位
	◎	地域社会学	2		行政学	2	◎			◎	都市計画	2		地域環境政策	2							
	◎	国土・地域計画	2		社会的共通資本	2				◎	地方自治	2		地域福祉政策	2							
											コミュニティ創造	2		行政評価	2							
														社会起業論	2							
		★地域科学コース基幹科目																					
		地域分析学	2		計量経済学	2					交通計画	2		防災計画	2						卒業要件単位に算入可能 /22単位	
					環境心理・行動学	2					景観工学	2		地区・街区計画	2							
					水資源利用学	2					環境衛生工学	2										
					災害の科学（水）	2					災害の科学（土）	2										
専門科目（関連）		★共通関連科目																					
		経営戦略論	2		ビジネスプロセスマネジメント	2					ロジスティクス	2		現代企業論	2						10単位まで 卒業要件単位に算入可能 /40単位	
		マーケティング	2		販売促進	2					マーケティングリサーチ	2		ブランディング	2							
		会計学概論	2		会計学	2					eビジネス	2		リスクマネジメント	2							
		金融論	2		経営財務	2					企業会計	2		税務会計	2							
		経営組織論	2		人的資源管理論	2								ＣＳＲ・経営倫理	2							
					経営情報管理	2																
		★社会基盤科目																					
					民法	2					商法・会社法	2		知的財産管理	2						卒業要件単位に算入可能 /10単位	
					公法	2					建築法規・環境法規	2										
		★生活基盤科目																					
		建築史	2		構造力学Ⅰ	2					構造力学Ⅱ	2		インテリアデザイン	2						卒業要件単位に算入可能 /37単位	
					材料学	2					建築一般構造	2		建築コスト	2							
					建築計画	2					施工技術	2		耐震設計法	2							
					生活環境工学	2					建築設備	2		ファシリティマネジメント	2							
					ユニバーサルデザイン	2					構造力学演習	1		サスティナブルデザイン	2							
					水理学	2					地盤工学	2		測量	2							
卒業研究				◎	地域創生演習Ⅰ	2	◎	地域創生演習Ⅱ	2	◎	卒業研究Ⅰ	2	◎	卒業研究Ⅱ	4						(必修)10単位	

地域科学コース

専門科目履修方法

基幹科目16単位と、関連科目を20単位履修する。

＜関連科目の履修方法について＞
①共通関連科目（最大10単位まで認定可能）
②社会基盤科目
③生活基盤科目
④全学共通科目のコミュニティ・プランナー実践論及びコミュニティ・プランナーフィールドワーク演習
⑤地域政策コース基幹科目
⑥地域科学コース基幹科目で16単位を超えて履修した科目

	必	科目名	単位	必	科目名	単位	必	科目名	単位	必	科目名	単位	必	科目名	単位	必	科目名	単位	必	科目名	単位	必要単位数／配当単位数	
専門科目（基幹）		★地域科学コース基幹科目																					
	◎	地域分析学	2	◎	計量経済学	2				◎	交通計画	2		防災計画	2						(必修) 6単位 (選択)10単位以上/16単位	必修を含めて36単位以上修得 /139単位
					環境心理・行動学	2					景観工学	2		地区・街区計画	2							
					水資源利用学	2					環境衛生工学	2										
					災害の科学（水）	2					災害の科学（土）	2										
		★地域政策コース基幹科目																					
		地域資源論	2		都市と文化	2					地域交流論	2		地域産業政策	2						卒業要件単位に算入可能 /30単位	
		地域社会学	2		行政学	2					都市計画	2		地域環境政策	2							
		国土・地域計画	2		社会的共通資本	2					地方自治	2		地域福祉政策	2							
											コミュニティ創造	2		行政評価	2							
														社会起業論	2							
専門科目（関連）		★共通関連科目																					
		経営戦略論	2		ビジネスプロセスマネジメント	2					ロジスティクス	2		現代企業論	2						10単位まで 卒業要件単位に算入可能 /40単位	
		マーケティング	2		販売促進	2					マーケティングリサーチ	2		ブランディング	2							
		会計学概論	2		会計学	2					eビジネス	2		リスクマネジメント	2							
		金融論	2		経営財務	2					企業会計	2		税務会計	2							
		経営組織論	2		人的資源管理論	2								ＣＳＲ・経営倫理	2							
					経営情報管理	2																
		★社会基盤科目																					
					民法	2					商法・会社法	2		知的財産管理	2						卒業要件単位に算入可能 /10単位	
					公法	2					建築法規・環境法規	2										
		★生活基盤科目																					
		建築史	2		構造力学Ⅰ	2					構造力学Ⅱ	2		インテリアデザイン	2						卒業要件単位に算入可能 /37単位	
					材料学	2					建築一般構造	2		建築コスト	2							
					建築計画	2					施工技術	2		耐震設計法	2							
					生活環境工学	2					建築設備	2		ファシリティマネジメント	2							
					ユニバーサルデザイン	2					構造力学演習	1		サスティナブルデザイン	2							
					水理学	2					地盤工学	2		測量	2							
卒業研究				◎	地域創生演習Ⅰ	2	◎	地域創生演習Ⅱ	2	◎	卒業研究Ⅰ	2	◎	卒業研究Ⅱ	4						(必修)10単位	

必修を含めて125単位以上修得
/287単位

(7) 履修モデル

地域政策・地域科学の各コースにおいて、卒業要件単位を最低限で満たすための標準的な履修モデル（履修例）を示すものである。実際の科目履修にあたっては、自らの望む進路を考慮して、下に示す各系の履修モデルを参考に履修を進めることが望まれる。なお、各コースにおける展開モデルは以下のとおりである。

①地域政策コース	
地域プランナー	地域づくり・まちづくりの手法、行政および政策に関する知識を習得し、合わせて地域課題の分析手法を学び、地域活性化に資する政策の企画立案、実施を担う地域プランナー（公務員、シンクタンク、コンサルタントなど）を目指す。
地域アントレプレナー	社会課題に対する企業の対応に関する知識を習得し、合わせてプロジェクトのマネジメントや起業の手法を学び、地域活性化に貢献するグローカルにビジネスを展開するリーダー（地域企業、地域金融、ソーシャルビジネスなど）となることを目指す。
②地域科学コース	
地域アナリスト	地域の現状を把握・分析・表現するための知識と手法を習得し、科学的なエビデンスに裏付けされた資料に基づいて将来の地域政策・ビジネス提案を行うことのできる民間のアナリストやコンサルタントなどになることを目指す。
地域エンジニア	地域に出て現状を知り、土木・環境・情報・農業農村工学等の技術を学び、人々の安全な暮らしと産業の活性化に貢献する技術系公務員や民間のエンジニアなどになることを目指す。

凡例：●…必修，○…選択科目，◎…選択科目（選択が推奨されるもの）

科目区分		授業科目	配当年次	単位数	授業形態	基本モデル 地域政策コース	基本モデル 地域科学コース	地域政策コース 地域プランナー	地域政策コース 地域アントレプレナー	地域科学コース 地域アナリスト	地域科学コース 地域エンジニア	卒業要件 区分ごとの要件1	卒業要件 区分ごとの要件2	卒業要件 備考
基盤教育科目	フレッシュマンコア	宮城大学の知の体系	1前	2	講義	●	●	●	●	●	●		21単位必修 ※ただし留学生については備考のとおりとする	留学生は15単位必修 留学生は2単位以上選択必修
		大学での学び入門	1前	1	講義	●	●	●	●	●	●			
		社会の中で生きる	1前	1	講義	●	●	●	●	●	●			
		キャリアデザインⅠ	1後	1	講義	●	●	●	●	●	●			
		スタートアップ・セミナー	1前	2	講義	●	●	●	●	●	●			
		アカデミック・セミナー	1後	2	講義	●	●	●	●	●	●			
		地域フィールドワーク	1前	2	講義	●	●	●	●	●	●			
		情報化社会と技術	1後	2	講義	●	●	●	●	●	●			
		データサイエンス入門	1前	2	講義	●	●	●	●	●	●			
		English Reading Skills Ⅰ	1前	1	演習	●	●	●	●	●	●			
		English Self-Expression Ⅰ	1前	1	演習	●	●	●	●	●	●			
		English Reading Skills Ⅱ	1後	1	演習	●	●	●	●	●	●			
		English Self-Expression Ⅱ	1後	1	演習	●	●	●	●	●	●			
		English for Academic Purposes Ⅰ	2前	1	演習	●	●	●	●	●	●			
		English Self-ExpressionⅢ	2前	1	演習	●	●	●	●	●	●			
	グローバルコミュニケーション	English for Academic Purposes Ⅱ	2後	1	演習	○	○	◎	◎	◎	◎		3単位以上修得	
		Extensive Listening	2後	1	演習	○	○	◎	◎	◎	◎			
		Practical English	2前	1	演習	○	○	○	○	○	○			
		中国語Ⅰ	1・2前	1	演習				○					
		中国語Ⅱ	1・2後	1	演習									
		韓国語Ⅰ	1・2前	1	演習									
		韓国語Ⅱ	1・2後	1	演習									
		ベトナム語Ⅰ	1・2集中	1	演習				○					
		ベトナム語Ⅱ	1・2集中	1	演習									
		Global Studies Ⅰ	1・2前	2	講義									
		Global Studies Ⅱ	1・2後	2	講義									
		Intercultural Communication	1・2前	2	講義									
	ソーシャルサイエンス	日本の歴史と文化	1・2前	2	講義	○		○	◎			必修科目を含めて45単位以上修得	必修を含めて16単位以上修得	
		世界の歴史と文化	1・2後	2	講義									
		東北の歴史と文化	1・2後	2	講義	○		◎	◎					
		現代社会と哲学	1・2前	2	講義									
		人と宗教	1・2前	2	講義									
		心理学	1・2前	2	講義									
		現代社会の諸相	1・2後	2	講義	○	○	○		○	○			
		憲法	1・2後	2	講義	○	○	○	○	○	○			
		社会と経済	1・2後	2	講義	○	○	◎	○	◎	○			
	ナチュラルサイエンス	数理科学	1・2前	2	講義		○			○	○			
		生命科学	1・2前	2	講義	○			○					
		環境科学入門	1・2後	2	講義	○	○	○		○	○			
		地球と宇宙	1・2後	2	講義	○	○		○	○	○			
		数学概論	1・2前	2	講義		○	○		◎	◎			
		物理概論	1・2前	2	講義		○			○	◎			
		化学概論	1・2前	2	講義									
		生物概論	1・2前	2	講義				○					
		基礎統計学	1後	2	講義	●	●	●	●	●	●			
	アートサイエンス	音楽	1・2前	2	講義				○				2単位以上修得	
		美術	1・2後	2	講義									
		健康科学	1・2前	2	講義	○	○	○		○	○			
		アートサイエンス概論	1前	1	講義									
		総合芸術	1集中	1	実験・実習									
		スポーツ科学	1・2前	1	講義									
		スポーツ実技	1・2前	1	実験・実習									
		体を動かす楽しみ	1・2後	1	実験・実習									
	基盤ゼミ	全学自由ゼミ	1・2集中	1	演習	○	○	○	○	○	○			
	留学生対象	日本語Ⅰ	1前	1	演習							留学生のみ履修可		留学生は必修
		日本語Ⅱ	1後	1	演習									留学生は必修
		日本語Ⅲ	2前	1	演習									留学生は必修
		日本語Ⅳ	2後	1	演習									
		日本事情Ⅰ	1前	2	講義									留学生は必修
		日本事情Ⅱ	1後	2	講義									留学生は必修
全学共通科目		コミュニティ・プランナー概論及び演習	2前	2	講義			◎	◎					
		コミュニティ・プランナー実践論	2後	2	講義			◎	◎					専門関連科目に算入可能
		コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習	3前	2	演習			◎	◎					
		グローバルインターンシップ	1・2集中	2	演習									
		学外研修	1・2集中	2	演習			◎	◎	◎	◎			
		産学連携講座Ⅰ	1・2通	1	講義									卒業要件単位に含まない
		産学連携講座Ⅱ	1・2通	1	講義									

凡例：●…必修，○…選択科目，◎…選択科目（選択が推奨されるもの）

科目区分			授業科目	配当年次	単位数	授業形態	基本モデル 地域政策コース	基本モデル 地域科学コース	地域政策コース 地域プランナー	地域政策コース 地域アントレプレナー	地域科学コース 地域アナリスト	地域科学コース 地域エンジニア	卒業要件 区分ごとの要件1	卒業要件 区分ごとの要件2	卒業要件 備考
専門科目	専門基礎科目		事業構想学概論	1後	2	講義	●	●	●	●	●	●	必修科目を含めて34単位以上必修		
			地域活性化とビジネス	1後	1	講義	●	●	●	●	●	●			
			地域社会・産業とデザイン	1後	1	講義	●	●	●	●	●	●			
			地域政策概論	2前	2	講義	●	●	●	●	●	●			
			ビジネスモデル論	2前	2	講義	●	●	●	●	●	●			
			ミクロ経済学	2前	2	講義	●	●	●	●	●	●			
			地域調査法	2前	2	講義	○	○	◎	◎	◎	◎			
			データサイエンス	2前	2	講義	●	●	●	●	●	●			
			応用統計処理	2前	2	講義	●	●	●	●	●	●			
			キャリアデザインⅡ	2前	1	講義	●	●	●	●	●	●			
			インターンシップⅠ	2前	2	講義	●	●	●	●	●	●			
			法学概論	2後	2	講義	●	●	●	●	●	●			
			経営学概論	2後	2	講義	●	●	●	●	●	●			
			マクロ経済学	2後	2	講義	●	●	●	●	●	●			
			社会調査法	2後	2	講義		○		○		○			
			数理計画	2後	2	講義	○	○	○		○	○			
			キャリア開発Ⅰ	2後	1	講義	●	●	●	●	●	●			
			消費者心理学	3前	2	講義	○			○					
			ゲーム理論	3前	2	講義				○					
			地理情報分析	3前	2	講義	○		◎		◎	◎			
			多変量解析	3前	2	講義		○			◎	◎			
			キャリア開発Ⅱ	3前	1	講義	●	●	●	●	●	●			
			インターンシップⅡ	3前	2	講義			○	○	○	○			
			キャリア開発Ⅲ	3後	1	講義	●	●	●	●	●	●			
	関連科目	地域政策コース基幹科目	地域資源論	2後	2	講義	○		○				地域政策コースは必修を含めて20単位以上修得		
			地域社会学	2後	2	講義	●	○	●		○	○			
			国土・地域計画	2後	2	講義	●	○	●		○	○			
			都市と文化	3前	2	講義	○		○						
			行政学	3前	2	講義	●	○	●		○	○			
			社会的共通資本	3前	2	講義	○		○						
			地域交流論	3後	2	講義	○		○						
			都市計画	3後	2	講義	●	○	●		○	○			
			地方自治	3後	2	講義	●	○	●		○	○			
			コミュニティ創造	3後	2	講義	○		○						
			地域産業政策	4前	2	講義	○	○	○		○				
			地域環境政策	4前	2	講義	○	○	○		○				
			地域福祉政策	4前	2	講義	○		○						
			行政評価	4前	2	講義	○		○		○				
			社会起業論	4前	2	講義	○				○				
		地域科学コース基幹科目	地域分析学	2後	2	講義	○	●	◎		●	●	地域科学コースは必修を含めて16単位以上修得		
			計量経済学	3前	2	講義		●	○		●	●			
			環境心理・行動学	3前	2	講義		○			○				
			水資源利用学	3前	2	講義		○				○			
			災害の科学（水）	3前	2	講義		○			○	◎			
			交通計画	3後	2	講義		●	○		●	○			
			景観工学	3後	2	講義	○	○	○		○	○			
			環境衛生工学	3後	2	講義		○				○			
			災害の科学（土）	3後	2	講義		○			○	◎			
			地区・街区計画	4前	2	講義		○				○			
			防災計画	4前	2	講義	○	○	○		◎	◎			
		共通関連科目	経営戦略論	2後	2	講義				○			必修科目を含めて36単位以上修得	10単位まで卒業要件単位に算入可能	
			マーケティング	2後	2	講義				○	◎				
			会計学概論	2後	2	講義			○						
			金融論	2後	2	講義					○				
			経営組織論	2後	2	講義				○					
			ビジネスプロセスマネジメント	3前	2	講義				○	○				
			販売促進	3前	2	講義				○					
			会計学	3前	2	講義			○						
			経営財務	3前	2	講義									
			人的資源管理論	3前	2	講義									
			経営情報管理	3前	2	講義									
			ロジスティクス	3後	2	講義									
			マーケティングリサーチ	3後	2	講義				○	◎				
			eビジネス	3後	2	講義									
			企業会計	3後	2	講義									
			現代企業論	4前	2	講義									
			ブランディング	4前	2	講義				○					
			リスクマネジメント	4前	2	講義									
			税務会計	4前	2	講義									
			ＣＳＲ・経営倫理	4前	2	講義									
		社会基盤科目	民法	3前	2	講義			○		○				
			公法	3前	2	講義			○		○				
			商法・会社法	3後	2	講義				○					
			建築法規・環境法規	3後	2	講義			○			○			
			知的財産管理	4前	2	講義					○				
		生活基盤科目	建築史	2後	2	講義									
			構造力学Ⅰ	3前	2	講義						◎			
			材料学	3前	2	講義						◎			
			建築計画	3前	2	講義									
			生活環境工学	3前	2	講義									
			ユニバーサルデザイン	3前	2	講義									
			水理学	3前	2	講義						◎			
			構造力学Ⅱ	3後	2	講義						◎			
			建築一般構造	3後	2	講義									
			施工技術	3後	2	講義						◎			
			建築設備	3後	2	講義									
			構造力学演習	3後	1	演習						◎			
			地盤工学	3後	2	講義						◎			
			インテリアデザイン	4前	2	講義									
			建築コスト	4前	2	講義									
			耐震設計法	4前	2	講義									
			ファシリティマネジメント	4前	2	講義									
			サスティナブルデザイン	4前	2	講義			○		○	◎			
			測量	4前	2	講義						◎			
	建築士受験資格D科目		生活環境デザイン概論	2後	2	講義							10単位必修		
			生活環境デザイン演習Ⅰ	2後	2	演習									
			生活環境デザイン演習Ⅱ	3前	3	演習									
			生活環境デザイン演習Ⅲ	3後	3	演習									
卒業研究			地域創生演習Ⅰ	3前	2	演習	●	●	●	●	●	●			
			地域創生演習Ⅱ	3後	2	演習	●	●	●	●	●	●			
			卒業研究Ⅰ	4前	2	演習	●	●	●	●	●	●			
			卒業研究Ⅱ	4後	4	演習	●	●	●	●	●	●			
基盤教育科目、全学共通科目、専門科目、卒業研究の合計							125	125	141	139	141	142			卒業要件単位数125単位以上修得

4 価値創造デザイン学類について

（1）カリキュラムの特徴

価値創造デザイン学類では、１年次に「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目と事業構想学群共通の専門基礎科目を学びます。１年次末までに自分の進む学類が決まり、２年次からは，学類共通の専門基礎科目を学びます。２年次後期からは、感性情報デザインコースか生活環境デザインコースのいずれかを選択し、コース毎に専門科目（ 基幹 ）を学びます。また、自分の将来イメージに併せて、他コースの専門科目（ 関連 ）も履修することができます。４年次には、卒業研究に取り組み４年間の学びの集大成となります。

（2）価値創造デザイン学類の教育目標

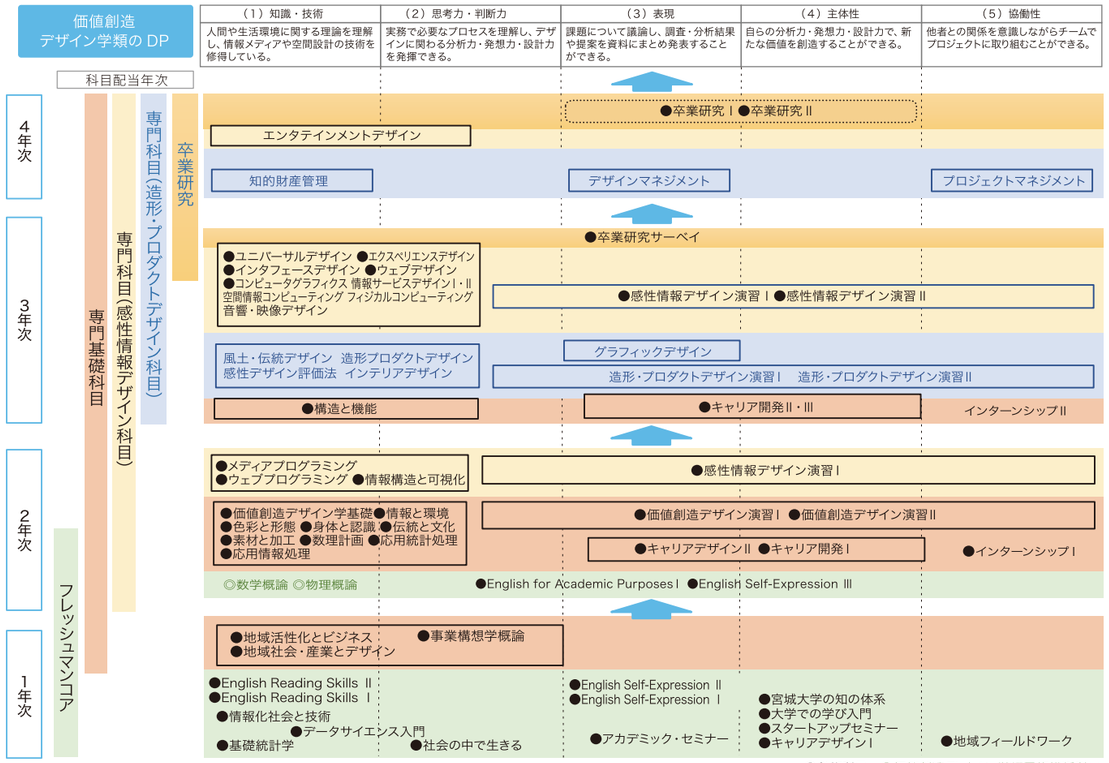
	ディプロマポリシー	カリキュラムポリシー
学類共通	事業構想学群価値創造デザイン学類では、以下の要件を満たした学生に学士（価値創造デザイン学）の学位を授与する。	人間の感性や地域の資源に応じた新しい価値を創造できるサービス・生活環境・製品（ものづくり）を探求創造する能力（価値創造デザイン力）を育成することを目的にカリキュラムを構成する。価値創造デザインにおける専門力を高めるため、メディア創造を対象とした「感性情報デザイン」、空間創造を対象とした「生活環境デザイン」に分類し、それぞれを履修コースとして定める。
知識・技術	人間や生活環境に関する理論を理解し、情報メディアや空間設計の技術を修得している。	事業構想学の学びに共通して基礎となる概念や理論、分析手法を教授するとともに、価値創造デザイン学の基礎となる人間の感性や認知に関する基本的な理論を教授するための専門基礎科目を置く。それを基盤に履修コースに応じた専門科目を展開する。 感性情報デザインコースの専門科目では、メディア開発のために必要とされる情報メディアに関する理論やプログラミング技術を教授する。 生活環境デザインコースの専門科目では、生活環境創造に必要とされる空間構成や構造に関する理論・技術を教授する。 両コースに共通した関連科目として、ものづくりを対象とした科目群を設け、製品デザインの基礎理論や地域風土に適応したデザインについて教授する。
思考判断力	実務で必要なプロセスを理解し、デザインに関わる分析力・発想力・設計力を発揮できる。	価値創造デザインに求められる分析力・発想力・設計力を育成するとともに、実務に必要なプロセスを理解するために、各コースの専門科目と協調した演習科目を置く。
表現	課題について議論し、調査・分析結果や提案を資料にまとめ発表することができる。	表現力を育成するために、演習や卒業研究に関する自らの発表機会を積極的に設けるとともに、講義科目においても学生の表現力育成を考慮した教育方法を採用する。
主体性	自らの分析力・発想力・設計力で、新たな価値を創造することができる。	学期毎に設けられる専門演習科目では、学生が主体的に創造する能力を育成するための課題設定を行う。最終年次においては、学生がそれまでに身につけた分析力・発想力・設計力を総合的に生かして新たな価値を創造できるデザインを行う「卒業研究」を設ける。キャリア教育では、事業構想の諸分野を知り、その中で自分の将来像をデザインできるようにするためのプログラムを取り入れる。
協働性	他者との関係を意識しながらチームでプロジェクトに取り組むことができる。	学生の協働性を育むために、学生がチームでプロジェクトに取り組む演習を配置する。また講義科目においても学生の協働性を生かした教育方法を採用する。 実社会における協働能力を養うために、学外でのインターンシップを取り入れたキャリア教育を実施する。

（3）卒業に必要な単位数及び卒業要件

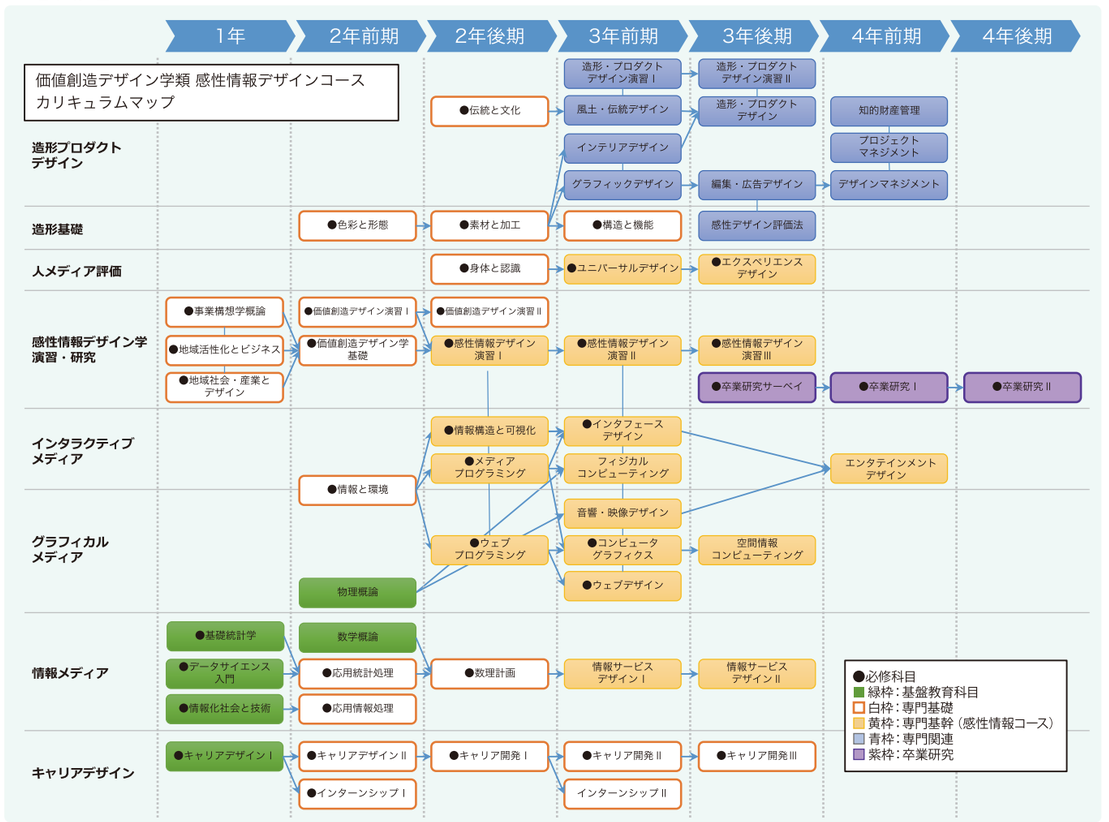
区分			配当単位数	必修単位数	選択必修	必要単位数	
基盤教育科目	フレッシュマンコア（FC）		21	21（留学生：15）	0（留学生：2）	21（留学生:17）単位以上	45単位以上
	グローバルコミュニケーション分野(GC)		15	0	3以上	3単位以上	
	ソーシャルサイエンス分野(SS)		18	0	14以上	16単位以上	
	ナチュラルサイエンス分野(NS)		18	2			
	アートサイエンス分野(AS)		11	0	2以上	2単位以上	
	基盤ゼミ		1	0	0		
	留学生対象		留学生のみ8	留学生のみ7	0	留学生のみ7単位以上	
全学共通科目			6	0	0		
			6	0	0	（卒業要件外）	
専門基礎科目			36	34	0	34単位以上	
専門科目	感性情報デザインコース	基幹科目	24	24	0	24単位以上	36単位以上
		関連科目	12	0	0	36単位以上	
		造形・プロダクトデザイン科目	24	0	0		
		生活環境デザインコースの基幹科目（卒業要件外）	59	0	0	卒業要件外	
	生活環境デザインコース	基幹科目	20	20	0	20単位以上	36単位以上
		関連科目	41	0	0	36単位以上	
		造形・プロダクトデザイン科目	24	0	0		
		感性情報デザインコースの基幹科目（卒業要件外）	34	0	0	卒業要件外	
卒業研究（3年次卒業研究サーベイ含む）			10	10	0	10単位以上	
合計			261	卒業要件単位数		125単位以上	

（4）価値創造デザイン学類感性情報コースのカリキュラムマップ

カリキュラムマップ

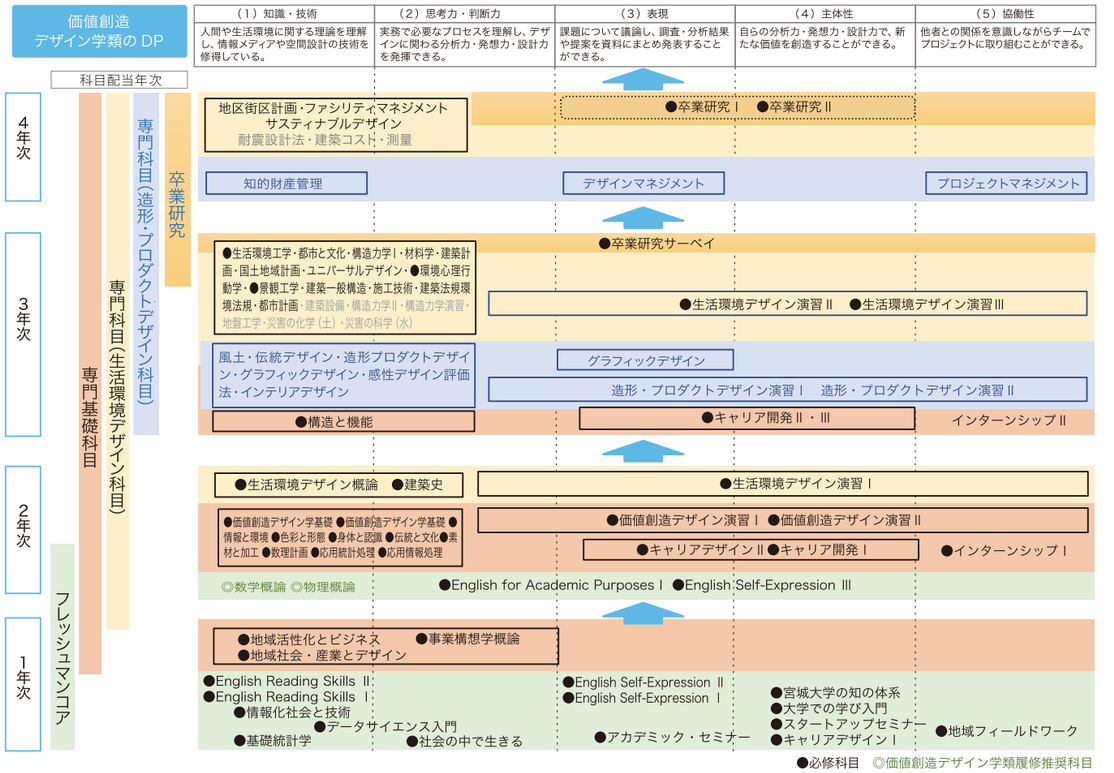


科目関連図

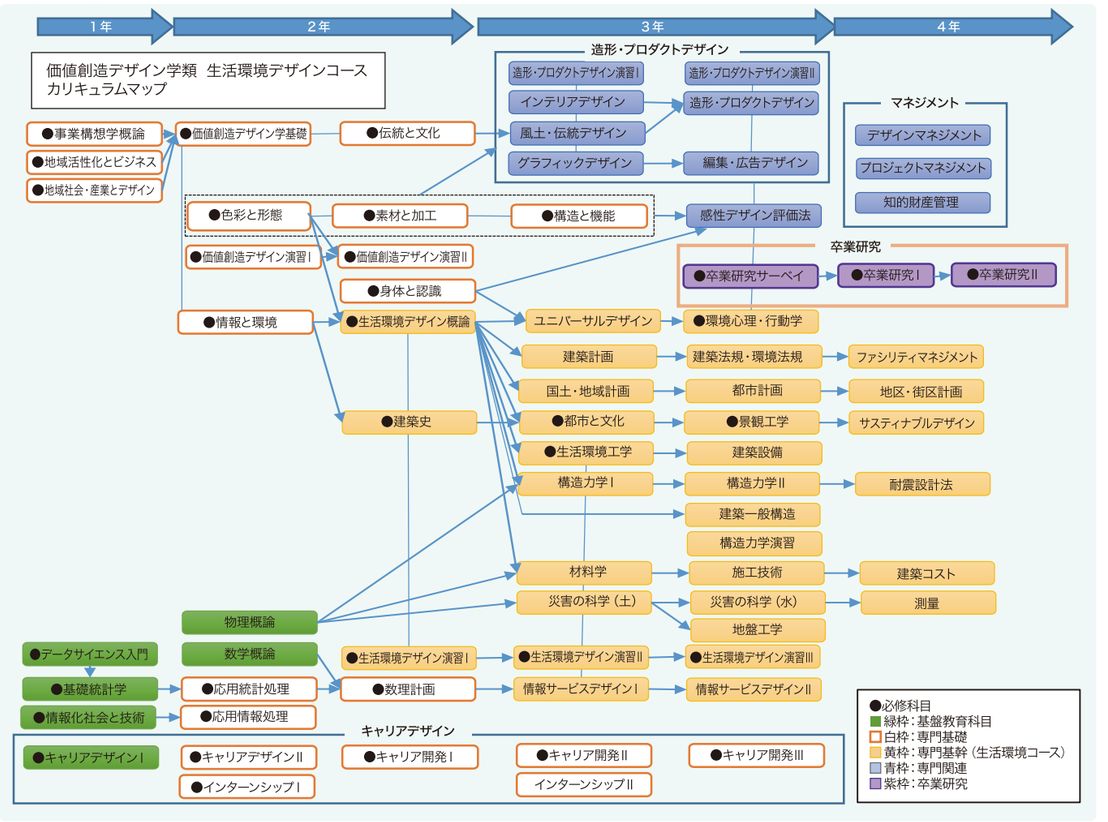


（5）価値創造デザイン学類生活環境デザインコースのカリキュラムマップ

カリキュラムマップ



科目関連図



(6) 価値創造デザイン学類の科目配当表

凡例 ◎ 必修科目

		1年前期 必	科目名	単位	1年後期 必	科目名	単位	2年前期 必	科目名	単位	2年後期 必	科目名	単位	3年前期 必	科目名	単位	3年後期 必	科目名	単位	4年前期 必	科目名	単位	4年後期 必	科目名	単位	必要単位数／配当単位数	
基盤教育科目（全学群共通）	FC	◎	スタートアップ・セミナー	2	◎	アカデミック・セミナー	2																			(必修)21単位 ※留学生は、English Self-Expression Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、English Reading Skills Ⅰ・Ⅱ、English for Academic Purposes Ⅰの中から2単位以上選択必修	必修を含めて45単位以上修得 /96単位
		◎	社会の中で生きる	1	◎	キャリアデザインⅠ	1																				
		◎	大学での学び入門	1																							
		◎	宮城大学の知の体系	2																							
		◎	地域フィールドワーク	2																							
		◎	データサイエンス入門	2	◎	情報化社会と技術	2																				
		◎	English Self-Expression Ⅰ	1	◎	English Self-Expression Ⅱ	1	◎	English Self-Expression Ⅲ	1																	
		◎	English Reading Skills Ⅰ	1	◎	English Reading Skills Ⅱ	1	◎	English for Academic Purposes Ⅰ	1																	
	GC		Intercultural Communication	2																						(選択) 3単位以上/15単位	
			Global Studies Ⅰ	2		Global Studies Ⅱ	2		Practical English	1		English for Academic Purposes Ⅱ	1														
			中国語Ⅰ	1		中国語Ⅱ	1					Extensive Listening	1														
			韓国語Ⅰ	1		韓国語Ⅱ	1																				
			ベトナム語Ⅰ（集中）	1		ベトナム語Ⅱ（集中）	1																				
	SS		日本の歴史と文化	2		世界の歴史と文化	2																			(必修) 2単位 (選択)14単位以上/34単位	
						東北の歴史と文化	2																				
			現代社会と哲学	2		現代社会の諸相	2																				
			人と宗教	2		憲法	2																				
			心理学	2		社会と経済	2																				
	NS		数理科学	2		環境科学入門	2																				
			生命科学	2		地球と宇宙	2																				
			数学概論	2	◎	基礎統計学	2																				
			物理概論	2																							
			化学概論	2																							
			生物概論	2																							
	AS		音楽	2		美術	2																			(選択) 2単位以上/11単位	
			健康科学	2																							
			スポーツ科学	1																							
			スポーツ実技	1		体を動かす楽しみ	1																				
			アートサイエンス概論	1		総合芸術（集中）	1																				
	基ゼ		全学自由ゼミ（集中）	1																							
	留学	◎	日本語Ⅰ	1	◎	日本語Ⅱ	1	◎	日本語Ⅲ	1		日本語Ⅳ	1													※留学生のみ履修可能 (必修) 7単位/8単位	
		◎	日本事情Ⅰ	2	◎	日本事情Ⅱ	2																				
全学共通科目			グローバルインターンシップ（集中）	2		学外研修（集中）	2		コミュニティ・プランナー概論及び演習	2		コミュニティ・プランナー実践論	2		コミュニティ・プランナー フィールドワーク演習	2										産学連携講座Ⅰ，Ⅱ及びCP実践論・CPFW演習は卒業要件単位に含まない	
			産学連携講座Ⅰ（通年）	1																							
			産学連携講座Ⅱ（通年）	1																							

価値創造デザイン学類 卒業要件

基盤教育科目から45単位、専門基礎科目から34単位、専門科目から36単位（※）、卒業研究から10単位を履修し合計で125単位履修すること。
履修科目の登録の上限：49単位（年間）
ただし、1年次における基盤教育科目の履修登録単位数の上限は35単位
※感性情報デザインコースは感性情報デザイン基幹科目24単位必修。
感性情報デザイン関連科目及び造形・プロダクトデザイン科目から12単位を選択する。
生活環境デザインコースは生活環境デザイン基幹科目20単位必修。
生活環境デザイン関連科目及び造形・プロダクトデザイン科目から16単位を選択する。
全学共通科目のコミュニティ・プランナー概論及び演習、グローバルインターンシップ、学外研修は基盤教育科目に参入可能。

学類共通

専門基礎科目		★専門基礎科目																								(必修)34単位 (選択) 卒業要件単位に算入可能 /2単位	必修を含めて34単位以上修得 /36単位
		◎	事業構想学概論	2	◎	価値創造デザイン演習Ⅰ	2	◎	価値創造デザイン演習Ⅱ	2																	
		◎	地域活性化とビジネス	1	◎	価値創造デザイン学基礎	2	◎	身体と認識	2	◎	構造と機能	2														
		◎	地域社会・産業とデザイン	1	◎	情報と環境	2	◎	伝統と文化	2																	
					◎	色彩と形態	2	◎	素材と加工	2																	
					◎	応用統計処理	2																				
					◎	応用情報処理	2	◎	数理計画	2																	
					◎	キャリアデザインⅡ	1	◎	キャリア開発Ⅰ	1	◎	キャリア開発Ⅱ	1	◎	キャリア開発Ⅲ	1											
					◎	インターンシップⅠ	2					インターンシップⅡ	2														

感性情報デザインコース

専門科目履修方法

感性情報デザイン基幹科目 24 単位は必修。
感性情報デザイン関連科目または造形・プロダクトデザイン科目から 12 単位を選択。

専門科目		★感性情報デザイン科目																								(必修)24単位 卒業要件単位に算入可能 /12単位	必修を含めて36単位以上修得 /60単位
		◎	メディアプログラミング	2	◎	ユニバーサルデザイン	2																				
		◎	ウェブプログラミング	2	◎	インタフェースデザイン	2																				
		◎	情報構造と可視化	2	◎	ウェブデザイン	2																				
		◎	感性情報デザイン演習Ⅰ	2	◎	コンピュータグラフィクス	2							◎	エクスペリエンスデザイン	2											
					◎	感性情報デザイン演習Ⅱ	3							◎	感性情報デザイン演習Ⅲ	3											
						情報サービスデザインⅠ	2								情報サービスデザインⅡ	2											
						フィジカルコンピューティング	2								空間情報コンピューティング	2											
						音響・映像デザイン	2											エンタテインメントデザイン	2								
					★造形・プロダクトデザイン科目																					卒業要件単位に算入可能 /24単位	
						風土・伝統デザイン	2								造形・プロダクトデザイン	2		デザインマネジメント	2							
						グラフィックデザイン	2								感性デザイン評価法	2		プロジェクトマネジメント	2							
						インテリアデザイン	2								編集・広告デザイン	2		知的財産管理	2							
						造形・プロダクトデザイン演習Ⅰ	3								造形・プロダクトデザイン演習Ⅱ	3											
卒業研究														◎	卒業研究サーベイ	2	◎	卒業研究Ⅰ	4	◎	卒業研究Ⅱ	4			(必修)10単位	
専門科目（卒業要件外）		★生活環境デザイン科目																								卒業要件外 /59単位	
			生活環境デザイン概論	2		生活環境工学	2					環境心理・行動学	2														
			建築史	2		都市と文化	2					景観工学	2														
			生活環境デザイン演習Ⅰ	2		生活環境デザイン演習Ⅱ	3					生活環境デザイン演習Ⅲ	3														
						構造力学Ⅰ	2					構造力学Ⅱ	2				耐震設計法	2									
						材料学	2					構造力学演習	1				建築コスト	2									
						建築計画	2					建築一般構造	2				地区・街区計画	2									
						国土・地域計画	2					建築法規・環境法規	2				ファシリティマネジメント	2									
						災害の科学（土）	2					施工技術	2				サスティナブルデザイン	2									
												建築設備	2				測量	2									
												都市計画	2														
												災害の科学（水）	2														
												地盤工学	2														

生活環境デザインコース

専門科目履修方法

生活環境デザイン基幹科目 20 単位は必修。
生活環境デザイン関連科目または造形・プロダクトデザイン科目から 16 単位を選択。

専門科目		★生活環境デザイン科目																								(必修)20単位 卒業要件単位に算入可能 /41単位	必修を含めて36単位以上修得 /85単位
		◎	生活環境デザイン概論	2	◎	生活環境工学	2				◎	環境心理・行動学	2														
		◎	建築史	2	◎	都市と文化	2				◎	景観工学	2														
		◎	生活環境デザイン演習Ⅰ	2	◎	生活環境デザイン演習Ⅱ	3				◎	生活環境デザイン演習Ⅲ	3														
						構造力学Ⅰ	2					構造力学Ⅱ	2				耐震設計法	2									
						材料学	2					構造力学演習	1				建築コスト	2									
						建築計画	2					建築一般構造	2				地区・街区計画	2									
						国土・地域計画	2					建築法規・環境法規	2				ファシリティマネジメント	2									
						災害の科学（土）	2					施工技術	2				サスティナブルデザイン	2									
						ユニバーサルデザイン	2					建築設備	2				測量	2									
												都市計画	2														
												災害の科学（水）	2														
												地盤工学	2														
					★造形・プロダクトデザイン科目																					卒業要件単位に算入可能 /24単位	
						風土・伝統デザイン	2					造形・プロダクトデザイン	2		デザインマネジメント	2										
						グラフィックデザイン	2					感性デザイン評価法	2		プロジェクトマネジメント	2										
						インテリアデザイン	2					編集・広告デザイン	2		知的財産管理	2										
						造形・プロダクトデザイン演習Ⅰ	3					造形・プロダクトデザイン演習Ⅱ	3													
卒業研究														◎	卒業研究サーベイ	2	◎	卒業研究Ⅰ	4	◎	卒業研究Ⅱ	4			(必修)10単位	
専門科目（卒業要件外）		★感性情報デザイン科目																								卒業要件外 /34単位	
			メディアプログラミング	2		インタフェースデザイン	2																				
			ウェブプログラミング	2		ウェブデザイン	2																				
			情報構造と可視化	2		コンピュータグラフィクス	2							◎	エクスペリエンスデザイン	2											
			感性情報デザイン演習Ⅰ	2		感性情報デザイン演習Ⅱ	3							◎	感性情報デザイン演習Ⅲ	3											
						情報サービスデザインⅠ	2								情報サービスデザインⅡ	2											
						フィジカルコンピューティング	2								空間情報コンピューティング	2											
						音響・映像デザイン	2											エンタテインメントデザイン	2								

必修を含めて125単位以上修得
/261単位

(7) 履修モデル

①感性情報デザインコース	
メディアデザイン系	感性情報デザインの基礎となるデザイン理論・技術に加えて，インターフェースや応用アプリケーションに関する技術を修得する。情報通信・ゲーム関連企業等におけるシステムプランナーやデザイナーを目指す。
ウェブデザイン系	感性情報デザインの基礎となるデザイン理論・技術に加えて，ウェブ上でのメディアデザイン手法と情報通信技術を修得する。ウェブデザイナーや一般企業での広告企画プランナーを目指す。
システムデザイン系	感性情報デザインの基礎となるデザイン理論・技術に加えて，情報通信技術を中心としてプロジェクトマネジメントに関する技術を修得する。情報関連企業でのシステムインテグレーター・エンジニアを目指す。
造形デザイン系	感性情報デザインの基礎となるデザイン理論・技術に加えて，主にモノづくりに注目した造形デザインの技術を中心に修得する。製造関連企業におけるプロダクトデザイナーや伝統工芸デザイナーを目指す。
②生活環境デザインコース	
プロダクトデザイン系	生活環境デザインの基礎となるデザイン理論・技術に加えて，主にモノづくりに注目した造形デザインの技術を中心に修得する。インテリアデザイナーやプロダクトデザイナー，伝統工芸デザイナーを目指す。
建築デザイン系	生活環境デザインの基礎となるデザイン理論・技術に加えて，建築に関する基礎理論と技術を中心に修得する。建築士資格に必要な科目を修得することにより二級建築士の受験資格を得ることができる。建築士やインテリアデザイナー等を目指す。
コミュニティデザイン系	生活環境デザインの基礎となるデザイン理論・技術に加えて，地域コミュニティや伝統工芸等に関する科目について中心に修得する。地域に密着した企業でのデザイナーやコミュニティプランナーを目指す。

価値創造デザイン学類の履修モデル　凡例：●…必修，○…選択科目，◎…選択科目（選択が推奨されるもの），★…資格取得に関連する科目

科目区分		授業科目	配当年次	単位数	授業形態	感性情報デザインコース メディアデザイン系	ウェブデザイン系	システムデザイン系	造形デザイン系	生活環境デザインコース プロダクトデザイン系	建築デザイン系	コミュニティデザイン系	卒業要件 区分ごとの要件1	区分ごとの要件2	備考
基盤教育科目	フレッシュマンコア	宮城大学の知の体系	1前	2	講義	●	●	●	●	●	●	●	必修科目を含めて45単位以上修得	21単位必修 ※ただし留学生については備考のとおりとする	留学生は15単位必修
		大学での学び入門	1前	1	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		社会の中で生きる	1前	1	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		キャリアデザインⅠ	1後	1	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		スタートアップ・セミナー	1前	2	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		アカデミック・セミナー	1後	2	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		地域フィールドワーク	1前	2	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		情報化社会と技術	1後	2	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		データサイエンス入門	1前	2	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		English Reading Skills Ⅰ	1前	1	演習	●	●	●	●	●	●	●			留学生は2単位以上選択必修
		English Self-Expression Ⅰ	1前	1	演習	●	●	●	●	●	●	●			
		English Reading Skills Ⅱ	1後	1	演習	●	●	●	●	●	●	●			
		English Self-Expression Ⅱ	1後	1	演習	●	●	●	●	●	●	●			
		English for Academic Purposes Ⅰ	2前	1	演習	●	●	●	●	●	●	●			
		English Self-Expression Ⅲ	2前	1	演習	●	●	●	●	●	●	●			
	グローバルコミュニケーション	English for Academic Purposes Ⅱ	2後	1	演習	○	○	○	○	○	○	○		3単位以上修得	
		Extensive Listening	2後	1	演習	○	○	○	○	○	○	○			
		Practical English	2前	1	演習										
		中国語Ⅰ	1・2前	1	演習										
		中国語Ⅱ	1・2後	1	演習										
		韓国語Ⅰ	1・2前	1	演習										
		韓国語Ⅱ	1・2後	1	演習										
		ベトナム語Ⅰ	1・2集中	1	演習										
		ベトナム語Ⅱ	1・2集中	1	演習										
		Global Studies Ⅰ	1・2前	2	講義	○	○	○	○	○	○	○			
		Global Studies Ⅱ	1・2後	2	講義										
		Intercultural Communication	1・2前	2	講義										
	ソーシャルサイエンス	日本の歴史と文化	1・2前	2	講義	○	○	○	○	○	○	○		必修を含めて16単位以上修得	
		世界の歴史と文化	1・2後	2	講義										
		東北の歴史と文化	1・2後	2	講義							○			
		現代社会と哲学	1・2前	2	講義										
		人と宗教	1・2前	2	講義										
		心理学	1・2前	2	講義	○	○	○	○	○	○	○			
		現代社会の諸相	1・2後	2	講義										
		憲法	1・2後	2	講義										
		社会と経済	1・2後	2	講義	○	○	○	○	○	○	○			
	ナチュラルサイエンス	数理科学	1・2前	2	講義	○	○	○	○	○	○	○			
		生命科学	1・2前	2	講義										
		環境科学入門	1・2後	2	講義	○	○	○	○	○	○	○			
		地球と宇宙	1・2後	2	講義	○	○	○							
		数学概論	1・2前	2	講義	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
		物理概論	1・2前	2	講義	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
		化学概論	1・2前	2	講義										
		生物概論	1・2前	2	講義										
		基礎統計学	1後	2	講義	●	●	●	●	●	●	●			
	アートサイエンス	音楽	1・2前	2	講義									2単位以上修得	
		美術	1・2後	2	講義	○	○	○	○	○	○	○			
		健康科学	1・2前	2	講義										
		アートサイエンス概論	1前	1	講義				○	○					
		総合芸術	1集中	1	実験・実習				○	○					
		スポーツ科学	1・2前	1	講義										
		スポーツ実技	1・2前	1	実験・実習										
		体を動かす楽しみ	1・2後	1	実験・実習										
	基盤ゼミ	全学自由ゼミ	1・2集中	1	演習										
	留学生対象	日本語Ⅰ	1前	1	演習									留学生のみ履修可能	留学生は必修
		日本語Ⅱ	1後	1	演習										
		日本語Ⅲ	2前	1	演習										留学生の選択科目
		日本語Ⅳ	2後	1	演習										
		日本事情Ⅰ	1前	2	講義										留学生は必修
		日本事情Ⅱ	1後	2	講義										
全学共通科目		コミュニティ・プランナー概論及び演習	2前	2	講義						○	○			
		コミュニティ・プランナー実践論	2後	2	講義										卒業要件単位に含まない
		コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習	3前	2	演習										
		グローバルインターンシップ	1・2集中	2	演習										
		学外研修	1・2集中	2	演習										
		産学連携講座Ⅰ	1・2通	1	講義										卒業要件単位に含まない
		産学連携講座Ⅱ	1・2通	1	講義										

凡例：●…必修，○…選択科目，◎…選択科目（選択が推奨されるもの），★…資格取得に関連する科目

科目区分		授業科目	配当年次	単位数	授業形態	感性情報デザインコース メディアデザイン系	ウェブデザイン系	システムデザイン系	造形デザイン系	生活環境デザインコース プロダクトデザイン系	建築デザイン系	コミュニティデザイン系	卒業要件 区分ごとの要件1	区分ごとの要件2	備考
専門基礎科目		事業構想学概論	1後	2	講義	●	●	●	●	●	●	●	必修科目を含めて34単位以上修得		
		地域活性化とビジネス	1後	1	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		地域社会・産業とデザイン	1後	1	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		価値創造デザイン学基礎	2前	2	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		情報と環境	2前	2	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		色彩と形態	2前	2	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		価値創造デザイン演習Ⅰ	2前	2	演習	●	●	●	●	●	●	●			
		応用情報処理	2前	2	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		応用統計処理	2前	2	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		キャリアデザインⅡ	2前	1	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		インターンシップⅠ	2前	2	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		身体と認識	2後	2	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		伝統と文化	2後	2	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		素材と加工	2後	2	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		価値創造デザイン演習Ⅱ	2後	2	演習	●	●	●	●	●	●	●			
		数理計画	2後	2	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		キャリア開発Ⅰ	2後	1	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		構造と機能	3前	2	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		キャリア開発Ⅱ	3前	1	講義	●	●	●	●	●	●	●			
		インターンシップⅡ	3前	2	講義										
		キャリア開発Ⅲ	3後	1	講義	●	●	●	●	●	●	●			
専門科目・感性情報デザイン科目	基幹科目	メディアプログラミング	2後	2	講義	●	●	●	●				感性情報デザインコースは必修を含めて36単位以上修得	感性情報デザインコースは24単位必修	
		ウェブプログラミング	2後	2	講義	●	●	●	●						
		情報構造と可視化	2後	2	講義	●	●	●	●						
		感性情報デザイン演習Ⅰ	2後	2	演習	●	●	●	●						
		ユニバーサルデザイン	3前	2	講義	●	●	●	●						生活環境デザインコースは関連科目に算入
		インタフェースデザイン	3前	2	講義	●	●	●	●						
		コンピュータグラフィクス	3前	2	講義	●	●	●	●						
		ウェブデザイン	3前	2	講義	●	●	●	●						
		感性情報デザイン演習Ⅱ	3前	3	演習	●	●	●	●						
		エクスペリエンスデザイン	3後	2	講義	●	●	●	●						
		感性情報デザイン演習Ⅲ	3後	3	演習	●	●	●	●						
	関連科目	情報サービスデザインⅠ	3前	2	講義		○	○							
		フィジカルコンピューティング	3前	2	講義	○		○							
		音響・映像デザイン	3前	2	講義	○									
		情報サービスデザインⅡ	3後	2	講義		○	○							
		空間情報コンピューティング	3後	2	講義	○		○							
		エンタテインメントデザイン	4前	2	講義	○									
専門科目・造形・プロダクトデザイン科目		風土・伝統デザイン	3前	2	講義				○	○		○			
		グラフィックデザイン	3前	2	講義	○	○		○	○		○			
		造形・プロダクトデザイン演習Ⅰ	3前	3	演習				○	○					
		インテリアデザイン	3前	2	講義					○					
		造形・プロダクトデザイン	3後	2	講義				○	○		○			
		感性デザイン評価法	3後	2	講義	○	○								
		編集・広告デザイン	3後	2	講義		○					○			
		造形・プロダクトデザイン演習Ⅱ	3後	3	演習				○	○					
		デザインマネジメント	4前	2	講義					○					
		プロジェクトマネジメント	4前	2	講義			○				○			
		知的財産管理	4前	2	講義		○	○							
専門科目・生活環境デザイン科目	基幹科目	生活環境デザイン概論	2後	2	講義					●	●	●	生活環境デザインコースは必修を含めて36単位以上修得	生活環境デザインコースは20単位必修	
		建築史	2後	2	講義					●	●	●			
		生活環境デザイン演習Ⅰ	2後	2	演習					●	●	●			
		生活環境工学	3前	2	講義					●	●	●			
		都市と文化	3前	2	講義					●	●	●			
		生活環境デザイン演習Ⅱ	3前	3	演習					●	●	●			
		環境心理・行動学	3後	2	講義					●	●	●			
		景観工学	3後	2	講義					●	●	●			
		生活環境デザイン演習Ⅲ	3後	3	演習					●	●	●			
	関連科目	構造力学Ⅰ	3前	2	講義						★				
		材料学	3前	2	講義						★				
		建築計画	3前	2	講義						★				
		国土・地域計画	3前	2	講義										
		災害の科学（土）	3前	2	講義										
		構造力学Ⅱ	3後	2	講義						★				
		構造力学演習	3後	1	演習						★				
		建築一般構造	3後	2	講義						★				
		建築法規・環境法規	3後	2	講義						★				
		施工技術	3後	2	講義						★				
		建築設備	3後	2	講義						★				
		都市計画	3後	2	講義						○	○			
		災害の科学（水）	3後	2	講義										
		地盤工学	3後	2	講義										
		耐震設計法	4前	2	講義						★				
		建築コスト	4前	2	講義						★				
		地区・街区計画	4前	2	講義						★				
		ファシリティマネジメント	4前	2	講義						○	○			
		サスティナブルデザイン	4前	2	講義						○	○			
		測量	4前	2	講義										
卒業研究		卒業研究サーベイ	3後	2	演習	●	●	●	●	●	●	●	10単位		
		卒業研究Ⅰ	4前	4	演習	●	●	●	●	●	●	●			
		卒業研究Ⅱ	4後	4	演習	●	●	●	●	●	●	●			
基盤教育科目、全学共通科目、専門基礎科目、専門科目、卒業研究の合計						125	125	125	125	125	138	125	卒業要件単位数125単位以上修得		

5 関連資格・検定等

資　　格	受験資格	在学中	連絡先
統計検定（1, 準1, 2, 3, 4級）	制限なし	可	（財）統計質保証推進協会
ITパスポート試験・情報セキュリティマネジメント試験・基本情報技術者試験・応用情報技術者試験・ITストラテジスト試験・システムアーキテクト試験・プロジェクトマネージャ試験・ネットワークスペシャリスト試験・データベーススペシャリスト試験・エンベデッドシステムスペシャリスト試験・情報セキュリティスペシャリスト試験・ITサービスマネージャ試験・システム監査技術者試験	制限なし	可	（独）情報処理推進機構
CGクリエイター検定・CGエンジニア検定・Webデザイナー検定・画像処理エンジニア検定・マルチメディア検定	制限なし	可	（財）画像情報教育振興協会
カラーコーディネーター検定（1, 2, 3級）	制限なし	可	東京商工会議所 検定センター
色彩検定（1, 2, 3級）	制限なし	可	（公社）色彩検定協会
ウェブデザイン技能検定（3級）	制限なし	可	インターネットスキル認定普及協会
プロダクトデザイン検定（1, 2級）	制限なし	可	（株）ボーンデジタル 検定事務局
二級建築士及び木造建築士	建築士指定科目を修めて卒業した場合受験可	卒業後受験可	建築技術教育普及センター
インテリアプランナー	二級建築士合格後受験可	卒業後	
インテリア設計士　1級	二級建築士合格後受験可	卒業後	（社）インテリア設計士協会
インテリア設計士　2級	二級建築士合格後受験可	卒業後	
商業施設士	士補取得後受験可	可	（社）商業施設技術団体連合会 受験係
商業施設士補	（教務担当教員に問合せ）	可	
ファシリティーマネージャー	制限なし	可	公益社団法人日本 FM 協会
宅地建物取引主任者	制限なし	可	（財）不動産適正取引推進機構 建築技術教育普及センター
建築設備士	資格＋実務、実務9年以上	卒業後	
建築施工管理技士（1級）	2級取得後実務経験5年	卒業後	（財）建設業振興基金試験研修本部
建築施工管理技士（2級）	8年以上の実務経験	卒業後	

建築士受験指定科目に該当する科目一覧

指定科目の分類							建築士受験に必要な単位数と建築実務の経験年数		
	開講科目名	履修学年	単位数	地域創生学類	価値創造デザイン学類	小計	二級・木造建築士		
①建築設計製図	生活環境デザイン演習Ⅰ	3年	2	他学類履修※	選択	8単位	5単位	3単位	3単位
	生活環境デザイン演習Ⅱ	3年	3	他学類履修※	選択				
	生活環境デザイン演習Ⅲ	3年	3	他学類履修※	選択				
②建築計画	建築史	2年	2	選択	選択	12単位	7単位	7単位	7単位
	建築計画	3年	2	選択	選択				
	環境心理・行動学	3年	2	選択	選択				
	地区・街区計画	4年	2	選択	選択				
③建築環境工学	生活環境工学	3年	2	選択	選択				
④建築設備	建築設備	3年	2	選択	選択				
⑤構造力学	構造力学Ⅰ	3年	2	選択	選択	11.単位	6単位	6単位	6単位
	構造力学Ⅱ	3年	2	選択	選択				
	構造力学演習	3年	1	選択	選択				
⑥建築一般構造	建築一般構造	3年	2	選択	選択				
	耐震設計法	4年	2	選択	選択				
⑦建築材料	材料学	3年	2	選択	選択				
⑧建築生産	施工技術	3年	2	選択	選択	4単位	1単位	1単位	1単位
	建築コスト	4年	2	選択	選択				
⑨建築法規	建築法規・環境法規	3年	2	選択	選択	2単位	1単位	1単位	1単位
①～⑨小計						37単位	20単位	20単位	20単位
⑩その他	生活環境デザイン概論	2年	2	他学類履修※	選択	14単位	適宜	適宜	適宜
	インテリアデザイン※※	3年	2	選択	選択				
	都市と文化	3年	2	選択	選択				
	景観工学	3年	2	選択	選択				
	都市計画	3年	2	選択	選択				
	サスティナブルデザイン	4年	2	選択	選択				
	ファシリティマネジメント	4年	1	選択	選択				
①～⑩合計						51単位	40単位	30単位	20単位
必要な実務経験数							0年	1年	2年

※域創生学類では開講しないため、他学類履修　※※地域創生学類は4年次開講